

# 社 会

## 1 編集の具体的方針

### (1) 各学年の分冊

3・4年上	3・4-1	1 わたしのまち みんなのまち 1. 学校のまわり 2. 市のようす 地図 仙台市の位置
	3・4-2	2 はたらく人とわたしたちの暮らし 1. 店ではたらく人 2-1. 農家の仕事 2-2. 工場の仕事 3 かわってきた人々の暮らし 1. 古い道具と昔の暮らし 2. のこしたいもの, つたえたいもの 地図 松山市の位置
3・4年下	3・4-3	4 暮らしを守る 1-1. 火事から暮らしを守る 1-2. 地震から暮らしを守る 2. 事故や事件から暮らしを守る 地図1 山口県の位置 地図2 静岡県の位置 地図3 宮崎県の位置 地図4 千葉県の位置
	3・4-4	5 住みよいくらしをつくる 1. 水はどこから 2. ごみのしよりと利用 6 きょう土のはってんにつくす 1. 谷に囲まれた台地に水を引く 地図1 岡山県の位置 地図2 埼玉県の位置 地図3 栃木県の位置 地図4 滋賀県の位置 地図5 熊本県の位置 地図6 京都府の位置 地図7 島根県の位置 地図8 佐賀県の位置
	3・4-5	6 わたしたちの県 1. 県の広がり 2. 特色ある地いきと人々の暮らし 3. 世界とつながる私たちの県 「5年生に向けて」
5年上	5-1	1 わたしたちの国土 0. 世界の中の国土 1. 国土の地形の特色 2-1. 低い土地の暮らし 2-2. 高い土地の暮らし
	5-2	3. 国土の気候の特色 4-1. あたたかい土地の暮らし 4-2. さむい土地の暮らし
	5-3	2 わたしたちの生活と食料生産 1. 暮らしを支える食料生産

		2. 米づくりのさかんな地域
	5-4	3. 水産業のさかんな地域 4. これからの食料生産とわたしたち
5 年下	5-5	3 わたしたちの生活と工業生産 1. 工業生産と工業地域 2. 自動車をつくる工業 3. 工業生産を支える 4. これからの工業生産とわたしたち
	5-6	4 情報化した社会とわたしたちの生活 1. 情報産業とわたしたちの暮らし 2. 社会を変える情報 3. 情報を生かすわたしたち
	5-7	5 わたしたちの生活と環境 1. わたしたちの生活と森林 2. 環境を守るわたしたち 3. 自然災害を防ぐ
6 年上	6-1	地図 三内丸山遺跡・板付遺跡・吉野ヶ里遺跡・大山古墳・出雲の位置 1 日本の歴史 1. 縄文のむらから古墳のくにへ 2. 天皇中心の国づくり 年表
	6-2	地図 法隆寺・福岡市・平安京・平泉・北本市・町田市・三次市・室町（京都）の位置 3. 貴族の暮らし 4. 武士の世の中へ 5. 今に伝わる室町文化 「日本の時代」（各時代の長さを表す表，6-1の再掲） 巻末年表（平安～室町時代のみ，6-1の再掲）
	6-3	地図 安土・大阪・江戸・長篠・熊本・沖縄・会津若松の位置 6. 3人の武将と天下統一 7. 江戸幕府と政治の安定 8. 町人の文化と新しい学問 「日本の時代」（各時代の長さを表す表，6-1の再掲） 巻末年表（安土桃山～江戸時代のみ，6-1の再掲）
	6-4	地図1 奈良の位置 地図2 トルコ・ハワイ・ブラジルの位置 9. 明治の国づくりを進めた人々 10. 世界に歩み出した日本 「日本の時代」（各時代の長さを表す表，6-1の再掲） 巻末年表（明治～大正時代のみ，6-1の再掲）
	6-5	地図 広島・那覇の位置 11. 長く続いた戦争と人々の暮らし 12. 新しい日本，平和な日本へ 「日本の時代」（各時代の長さを表す表，6-1の再掲） 巻末年表（昭和～平成時代のみ，6-1の再掲）
6 年下	6-6	地図 川口市・気仙沼市・富山市・堺市の位置 2 わたしたちの生活と政治 1. 子育て支援の願いを実現する政治 1. 震災復興の願いを実現する政治 2. 国の政治のしくみ 3. わたしたちの暮らしと日本国憲法
	6-7	地図 アメリカ・中国・韓国・サウジアラビア・ツバルの位置

	国旗 アメリカ・中国・韓国・サウジアラビアの国旗
	3 世界の中の日本
	1. 日本とつながりの深い国々
	2. 世界の未来と日本の役割

(2) 各分冊の構成と順序

①各分冊の基本的な構成と順序は次のとおりとする。

- ・表紙
- ・目次
- ・学び方コーナーの目次（＊各巻に掲載しているものの目次）
- ・「この教科書に登場するキャラクター」（＊1巻のみ）
- ・地図（＊6年のみ）
- ・国旗（＊6年の第7巻のみ）
- ・本文等
- ・巻末資料（＊6年の第1巻から5巻の年表のみ）
- ・学び方コーナー
- ・地図（＊3・4年の必要な巻のみ）
- ・奥付

- ②各巻の目次には、その巻に掲載する大単元名・中単元名・小単元名を記す。また、各学年の第1巻の目次には、他の分冊の巻数とそれぞれに掲載する大単元名および中単元名を記す。
- ③学び方コーナーの目次には、その巻に掲載するものを記す。また、各学年の第1巻には、他の分冊の巻数とそれぞれに掲載する学び方コーナーのタイトルを記す。
- ④「この教科書に登場するキャラクター」には、各学年の教科書に登場するキャラクターを列記する。（＊1巻のみ）
- ⑤3・4年の巻末と6年の巻頭の地図には、各巻で扱う地域や場所の位置をまとめた地図を掲載する。また、6年第7巻の巻頭の地図の後にはその巻で紹介する国旗をまとめて掲載する。
- ⑥本文等には、本文の他、課題・言葉の解説・資料等を順に掲載する。具体的には後述の「(3) レイアウト」参照。ただし、学習の流れを考慮し、原典の順序を変更する場合がある。
- ⑦巻末資料には、6年の第2巻～5巻の該当する巻に関係する年表を掲載する。ただし、6年第1巻の年表にはすべての時代を掲載する。
- ⑧奥付には、点字および墨字の原典に関する情報を掲載する。
- ⑨『索引』は掲載しない。

(3) レイアウト

全学年を通じ、原則としてレイアウトは次のとおりとする。

- ①大単元の題名を9マス目から記す。番号の後2マスあける。番号には記号を付さない。
- ②中単元の題名を7マス目から記す。番号は1. 2. …のようにピリオドをつける。
- ③小単元の題名を5マス目から記す。原典では番号が付されていないが、検索性を高めるため(1)(2)…のように第1カッコで数字を囲んで番号を付す。
- ④大単元の冒頭については、原則として、大単元名、『めあて』、小単元名、○印、本文、資料の順に配置する（6年上を除く）。『めあて』については、5マス目からめあてと記し、次の行の3マスからその内容を記す。前後を1行あける。○印については、5マス目から**考えてみよう**と記し、次の行の3マスからその内容を記す。前後を1行あける。
- ⑤小単元の『つかむ』『調べる』『まとめる』『いかす』については、5マス目から**つかむ**などと記し、次の行の3マス目からその内容を記す。前後を1行あける。
- ⑥本文の前後は1行あける。
- ⑦本文中の会話部分及び吹き出しの箇所については、まとめりごとに前後を1行あける。3マス目から会話者の名前を記し、その後2マスあけて発言内容を第1カギで囲む。
- ⑧『ことば』については、5マス目から**ことば**と記し、次の行からその内容を記す。前後を1行あける。
- ⑨用語を解説する◇印については、5マス目から**かいせつ**と記し、次の行からその内容を記す。前後を1行あける。
- ⑩「・○○○」等の箇条書きについては、「1. ○○○, 2. ○○○, 3. …」のようにピリオドを付けて番号を付す。下位項目がある場合は「ア. ○○○, イ. ○○○, ウ. …」とする。

- ⑪『学習問題』については、波線の枠で囲む。上枠の次の行に7マス目から**学習問題**と記し、次の行の3マス目からその内容を記す。
- ⑫『学習問題』に続き『学習問題について予想しよう』や『学習計画を立てよう』がある場合は、『学習問題』と同じ波線の枠の中に入れる。『学習問題について予想しよう』や『学習計画を立てよう』は1行あけて5マス目から書く。『学習計画を立てよう』では、「1. 調べること」「2. 調べ方」「3. まとめ方」と番号を付し、それぞれの下位項目は「ア. ○○○, イ. ○○○, ウ. …」とする。1. 2. 3. やア. イ. ウ. の箇条書きは3マス目から書く。
- ⑬原典でオレンジの枠・鎖の枠・破線の枠で囲まれているものについては、点線の枠で囲む。上枠の次の行の5マス目からタイトルを記し、次の行の3マス目からその内容を記す。
- ⑭番号のついた資料（表、グラフ、地図、写真、絵等）は一重線の枠で囲み前後を1行あける。上枠の線の5マス目から「**1 写真**」などのように資料番号と資料の種類を記す。資料番号の後は1マスあけとする。資料のタイトルがある場合は次の行の7マス目から記す。ただし、写真や絵の場合は3マス目からとする。資料として写真が連続する場合、「**1・2 写真**」、「**1～3 写真**」のように、一つの枠にまとめて掲載することがある。一つの資料番号に対して複数の図表や写真がある場合、1. 2. 3. のように番号を付して記す。
- ⑮ふくろうの絵のある『話し合おう!』『やってみよう』『調べてみよう』『考えてみよう』については、5マス目から**話し合おう!**などと記し、次の行からその内容を記す。前後を1行あける。3・4年にある緑の枠で囲まれたふくろうの絵の箇所にはタイトルがないが、点訳にあたっては『考えてみよう』とタイトルを付けている。
- ⑯『まなび方コーナー』については、改ページ後1行目の7マス目から**まなび方コーナー**と記し、次の行の5マス目からタイトルを記す。学び方コーナーの副題は棒線ではさむ。原典の文中の「(1) ○○○, (2) ○○○, …」については、「1. ○○○, 2. ○○○, 3. …」のようにピリオドを付けて番号を付し、それぞれの下位項目は「ア. ○○○, イ. ○○○, ウ. …」とする。
- ⑰『ひろげる』については二重線枠で囲む。枠線の5マス目から**ひろげる**と記す。次の行の7マス目からタイトルを記す。
- ⑱3・4年の『まなびのポイント』については、5マス目から**まなびのポイント**と記し、次の行からその内容を記す。「1. ○○○, 2. ○○○, 3. …」のようにピリオドを付けて番号を付す。前後を1行あける。
- ⑲5年生の各小単元の最後にある『→』については、5マス目から**つなぐ**と記し、次の行からその内容を記す。前を1行あける。
- ⑳6年上の特設ページについては、改ページ後二重線枠で囲む。枠線の5マス目から特設ページと記す。次の行の7マス目からタイトルを記す。
- ㉑ 小単元の終わりに終止線(②の点)を入れる。
- ㉒ 目次、「この教科書に登場するキャラクター」、中単元の終わり、巻末資料の終わり、奥付終わりには、終止線(②⑤の点)を入れる。
- ㉓ 原典の該当ページの番号は、点字教科書のページ行に「メの字」で挟んで左側に記す。その際、原則として小單元ごとの見開きページの番号を記す。

#### (4) 位置を示す表現

- ①「上(下)の～」や「右(左)の～」という原典の紙面上での位置を示す表現は、「○○ページの～」または「次の～」などのように点字教科書中の位置に合わせた表現に修正する。
- ②原典において位置を示す表現がない場合でも、点字教科書中で図やグラフ等の参照ページを書き加えることが効果的な場合は本文に追加する。
- ③特定の用語を参照するために、原典の本文中で用語の下に書かれている(→○○ページ)については削除する。

#### (5) 写真の取り扱い

- ①原典にある写真については削除し、タイトルのみでもできる限り掲載することを原則とする。写真の説明文がある場合は、小見出し符(⑥・③⑥の点)の後に記す。
- ②写真のタイトルや説明文を可能な限り生かして点字化する。ただし、原典の表現では不足する視覚的情報等を補うために、適宜表現を修正することがある。
- ③写真のタイトルが原典にない場合は、必要に応じてタイトルを付けることがある。
- ④写真の説明文が原典にない場合は、必要に応じて新たな説明文を追加することがある。
- ⑤写真が複数ある場合は、「1. ○○○, 2. ○○○, 3. …」のようにピリオドを付けて番号を付す。
- ⑥原典の表紙にある写真については削除する。

(6) 絵の取り扱い

- ①原典にある絵については、基本的に削除する。ただし、単元の学習を進める上で参考になるものについては、絵のタイトルを記し、小見出し符（⑥・③⑥の点）の後に絵の説明文を記す。
- ②絵のタイトルや説明文を可能な限り生かして点字化する。ただし、原典の表現では不足する視覚的情報等を補うために、必要に応じて表現を修正することがある。
- ③絵のタイトルがない原典の場合は、必要に応じてタイトルを付けることがある。
- ④絵の説明文が原典にない場合は、必要に応じて新たな説明文を追加することがある。
- ⑤絵が複数ある場合は、「1. ○○○, 2. ○○○, 3. …」のようにピリオドを付けて番号を付す。

(7) グラフの取り扱い

- ①原典にあるグラフについては、点図化、数表化、数表と点図の併記、文章化の処理を行うか、削除する。
- ②点図にするかどうかの判断は、触察上の分かりやすさ、内容の理解のしやすさ、全体的な点図の枚数等を総合的に考慮して行う。ただし、原則として、円グラフ・帯グラフは数表化する。
- ③原則としてグラフの説明や凡例を先に記し、次にグラフを示す。グラフの説明や凡例のみを枠囲みする。
- ④グラフの説明や凡例を左ページに、グラフを右ページに配置し、できるだけ見開きとなるようにする。
- ⑤紙面の限界から、ページを縦長ではなく横長にしてグラフを掲載することがある。その場合、ページの左上に（横書き）と記す。
- ⑥棒グラフでは、原典では縦棒になっているものを点図では横棒にするなどの修正を行う場合がある。
- ⑦グラフ中の項目はできるだけ省略しないことを原則とする。省略する場合は連想しやすい表記とし、正式な名称を凡例で示す。
- ⑧グラフの数値の読み取りを容易にするための目盛り線を凹点で表す。
- ⑨グラフを数表化する場合、枠囲みに記す資料の種類を表に修正し、表（グラフ）のように原典の資料の種類をカッコ内に記す。同様に、数表と点図の併記にする場合、枠囲みに示す属性を表・グラフ（グラフ）のようにする。

(8) 地図の取り扱い

- ①原典にある地図は、点図またはサーモフォームによる触図化、数表化、文章化の処理を行うか、削除する。
- ②触図にするかどうかの判断は、触察上の分かりやすさ、内容の理解のしやすさ、全体的な点図の枚数等を総合的に考慮して行う。
- ③触図は原則として点図とするが、地形の高低差を表す必要がある場合は、サーモフォームによる触図化を行う。
- ④原則として図の説明や凡例を先に記述し、次に地図を示す。図の説明や凡例のみを枠囲みする。
- ⑤図の説明と地図ができるだけ見開きとなるようにする。
- ⑥紙面の限界から、ページを縦長ではなく横長にして地図を掲載することがある。その場合、ページの左上に（横書き）と記す。
- ⑦地図の範囲を表すため原則として各地図に枠をつける。
- ⑧地図中の地名等はできるだけ省略しないことを原則とする。省略する場合は連想しやすい表記とし、正式な名称を凡例で示す。
- ⑨陸地と海の区別を容易にするため、地図中の海を原則として凹点で表す。
- ⑩地図中の縮尺表示は、地図の意図する位置関係に主眼を置くため省略する。
- ⑪各単元冒頭の国・県や市・その他の場所等を示す地図は、必要に応じて1ページにまとめ、3・4年では該当の巻末に、6年では該当の巻頭に掲載する。この場合、本文中の該当個所に「地図は○○ページ」等の注意書きを挿入する。
- ⑫触図化する際の技術的な限界や、触覚的理解の困難さを考慮し、図の簡略化やデフォルメを行う場合がある。
- ⑬地図を表や説明にする場合、枠囲みに記す属性を表（地図）や説明（地図）とし、原典では地図となっていることを示す。

(9) 図の取り扱い

- ①原典にある図は、点図による触図化、数表化、文章化の処理を行うか、削除する。
- ②触図にするかどうかの判断は、触察上の分かりやすさ、内容の理解のしやすさ、全体的な点図の枚数等を総合的に考慮して行う。
- ③触図の説明や凡例がある場合は、原則として先に説明や凡例を記述し、次に触図を示す。図の説明や凡例のみを枠囲みする。簡易な図の場合は、説明や凡例がないこともある。
- ④説明と触図ができるだけ見開きとなるようにする。

- ⑤紙面の限界から、ページを縦長ではなく横長にして触図を掲載することがある。その場合、ページの左上に（横書き）と記す。
- ⑥触図の範囲を表す枠線を必要に応じて付ける。
- ⑦触図中の名称等はできるだけ省略しないことを原則とする。省略する場合は連想しやすい表記とし、正式な名称を凡例で示す。
- ⑧触図化する際の技術的な限界や、触覚的理解の困難さを考慮し、図の簡略化やデフォルメを行う場合がある。

(10) 「2. 編集の具体的内容」の備考欄における記載事項

- ①触覚による把握：触覚によって理解することが可能なグラフ、地図、図について、点図やサーモフォームによる図を掲載する。
- ②理解のしやすさ：点図化が困難なため削除した写真、絵、図、グラフについて、児童の理解を促すため文章化や数表化して掲載する。
- ③指導者による補足：写真、絵、図、グラフを削除した場合は、指導者による補足説明を授業の中で行うことが望ましい。

2 編集の具体的内容

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
3・4 上	2, 3	絵	削除 修正	絵を削除し、文章を次のように変更した。 「わたしたちがすんでいるまちには、なにがあるかな。どんな人がいるかな。なにをしているのかな。」	指導者による補足 (指導者は児童の経験から発表できるようにするなど配慮する)
		吹き出し	修正	ドラえものの吹き出しを次のように変更した。 「みんながすむまちには、どんなたてもものがあるかな。」	理解のしやすさ
4, 5	4, 5	まなびのポイント	修正	「まなびのポイント」の2つ目の項目を次のように変更した。 2. お気に入りの場所がどこにあるかせつめいしよう。	理解のしやすさ (レーザライターで地図をかくなどの活動も考えられるが、自分の家の近くの場所について言葉で説明する活動に差し替えた。)
		本文	削除	4ページの3行目「絵地図にかいて」を削除した。	
		地図	削除 追加	学校のまわりの白地図を削除して、次の文を追加した。 「白地図とは、道や川や鉄道だけが描かれた地図のことです。」	白地図を提示する場合は、学習段階を考慮してできるだけ単純化する必要がある。
6, 7	6, 7	本文	修正	白地図に書き込む作業は「白地図でたしかめる」に修正した。	理解のしやすさ
		資料	修正	「コースを決める」の3つ目の項目を次のように修正した。 3. 道じゅんを決めて白地図でたしかめる。	理解のしやすさ

	図	修正	<p>「たんけんコースを入れた地図」を削除し、次のように説明を追加した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「はるかさんたちは、大きな神社へ行く「神社コース」、台原森林公園へ行く「ほたる池コース」、人形をつくっているおじさんの家へ行く「人形コース」の、3つのコースを考えました。」</p> </div>	理解のしやすさ
	まなび方 コーナー	修正	<p>まとめ方を次のように修正した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 調べたことをノートに書く。 2. 教室にもどったら、友だちと地図でたしかめ合う。</p> </div>	理解のしやすさ
	解説	修正 追加	<p>方位の図は点図化する。方位磁針の写真は削除し、次のような説明文を追加した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>視覚障害者が使いやすいものとして、「視覚障害者用方位磁石」や「音声方位計」があります。</p> <p>視覚障害者用方位磁石は、手のひらに入るくらいの四角い箱の中に磁石が入ったものです。使うときは、まず、平らなところでふたをしてそのまましばらく待ちます。磁石の方向が定まったら、ふたをゆっくり開けて、中をそっと触ります。線の先が北をさしています。また、ちょうつがいの近くにある目印からすぐ手前の目盛りや文字を読み取ると、自分が今向いている方向が分かります。</p> <p>音声方位計は、音声で方位が分かります。知りたい方向に音声方位計を向けたままボタンを押すと方位を知らせてくれます。</p> </div>	児童が扱いやすいものについて紹介した。
8～13	まなびの ポイント	修正	<p>「まなびのポイント」の2つ目と3つ目の項目を次のように修正した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2. 見つけたことやふしぎに思ったことをノートに書こう。 3. たんけんが終わったら地図でたしかめよう。</p> </div>	理解のしやすさ
	地図	修正	<p>「わかったことをまとめた絵地図」については、単純化して点図化した。地図に書き込まれている言葉は短い言葉に省略した。</p>	触覚による把握
14, 15	地図	修正	<p>「つなげた絵地図」については、単純化して点図化した。</p>	触覚による把握
	考えてみよう	修正	<p>「考えてみよう」を次のように修正した。 地図の「東」「西」「南」「北」がどこになる</p>	理解のしやすさ

3・4 上			か確かめてみましょう。		
	16, 17	地図	削除 追加	「整理した絵地図」は削除し、次のような説明文を追加した。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 家の多いところ、木があるところ、店の多いところ、病院、ゆうびん局、寺、神社、公園を、記号を決めて絵地図にかき入れました。 </div>	理解のしやすさ
		地図	修正	「先生の地図」については、単純化して点図化した。	触覚による把握
		図	修正	「主な地図記号」については、地図記号（学校、神社、消ぼうし、橋）を点図化し、説明を加えた。もともとなったものの絵は削除した。	触覚による把握
	20, 21	地図	修正	仙台市の位置を示す地図を点図化し、巻末に掲載した。日本地図1枚の中に仙台市の位置を示した。	触覚による把握
	22, 23	まなびの ポイント	修正	「まなびのポイント」の3つ目の項目を次のように修正した。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 3. 市の地図と写真のようすをもとに学習問題をつくろう </div>	理解のしやすさ
		地図	修正	「仙台市の土地の高さと土地の使われ方」については、土地の高さや使われ方をとらえられるよう簡略化し、真空成形器で作成した。土地の高さを3段階で表した。道路や川は省略した。	触覚による把握
	24, 25	地図	削除	「調べるところ」の地図を削除した。	指導者による補足
	26～35	地図	削除	わたしたちの学校と調べたところを表す地図は削除した。	指導者による補足
	26, 27	地図	修正	「仙台駅のまわり」の地図については単純化して点図化した。	触覚による把握
28, 29	地図	修正	「仙台港のまわり」の地図については単純化して点図化した。	触覚による把握	
30, 31	地図	修正	「泉パークタウンのまわり」の地図については単純化して点図化した。	触覚による把握	
32, 33	地図	修正	「名取川にそった場所」の地図については単純化して点図化した。	触覚による把握	
34, 35	地図	修正	「秋保温泉のまわり」の地図については単純化して点図化した。	触覚による把握	
38, 39	ポスター	修正	ポスターの中の地図については市の概形を点図	触覚による把握	



3・4 上			化して、1～5の番号を付した。		
	40	図	修正	「風車」「はくぶつ館」「老人ホーム」「発電所」の地図記号を点図化した。	触覚による把握
	41	地図	修正	「ゆうとさんたちが出し合った公共しせつ」の地図については市の概形を点図化して、1～5の番号を付した。	触覚による把握
	44, 45	地図	削除	「市の様子の学習で見た地図」については、原典22, 23ページと同じであるため削除した。	指導者による補足
	46, 47	地図	削除追加	「みんながよく行く店」の地図については削除し、しるしの数を表で表した。	理解のしやすさ
		地図	削除追加	「それぞれの店に行くわけ」の地図については削除し、地図で表されている交通手段についての説明を追加した。	理解のしやすさ
	48, 49	写真	追加	「こうこくのちらし」の写真について、次のような説明文を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ちらしにはどんなことが書いてあるでしょうか。ちらしはどんなふうにくぼられているでしょうか。</div>	ちらしに書かれていることを家の人に聞いて調べるなどの活動も考えられる。
	50～53	本文 写真	削除	「下の写真はスーパーマーケットの中の様子です。」の一文を削除し、8つの写真も削除する。	指導者による補足
		写真	修正	スーパーマーケットの中のような絵を単純化して点図化した。	触覚による把握
		写真	修正	53ページの写真の内容を文章化し、本文を次のように修正した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">いろいろな仕事をしている人がいたよ。次の1.～4.の人はどことなくふうをしているか、あとのア.～エ.の中から選んでみよう。 1. 事務所で仕事をしている人 2. 商品を運んでいる人 3. 魚売り場の中で魚をさばいている人 4. パン売り場の中でパンを焼いている人 ア. 店のカートを使って商品を出し、… イ. お客さんが買いたいときに… ウ. お客さんにおいしく食べて… エ. コンピューターで品物の…</div>	理解のしやすさ
56, 57	写真	追加	「スーパーマーケットの様子」の写真について、次のような説明文を追加した。	理解のしやすさ	

		<p>レジがたくさんあります。レジを通り過ぎたところには、買ったものを袋に入れるための台があります。</p>		
写真	追加	<p>「品物の場所を示すかんばん」の写真について、次のような説明文を追加した。</p> <p>遠くから見ても分かりやすいように、天井からかんばんがつるされています。大きく「1」と書かれているかんばんには、「お米・切餅、お茶・のり、小麦粉・乾燥野菜」と書かれています。</p>	理解のしやすさ	
写真	追加	<p>「やさい売り場」の写真について、次のような説明文を追加した。</p> <p>にんじんの札には「炒め物にどうぞ！ 北海道産 にんじん 1本27円（税込）」と書かれています。</p>	理解のしやすさ	
写真	追加	<p>「品物にはられているシール」の写真について、次のような説明文を追加した。</p> <p>肉のトレイのラップや、レタスに巻いてあるテープにシールがついています。</p>	理解のしやすさ	
60, 61	写真	追加	<p>「くだもの売り場」の写真について、次のような説明文を追加した。</p> <p>キウイフルーツの札に「ニュージーランド産」と書かれています。</p>	理解のしやすさ
	写真	追加	<p>「パッケージされた魚」の写真について、次のような説明文を追加した。</p> <p>ブリのバックに「愛媛県産」と書かれています。</p>	理解のしやすさ
	写真	追加	<p>「やさい売り場」の写真について、次のような説明文を追加した。</p> <p>玉ねぎの札に「北海道産」と書かれています。</p>	理解のしやすさ
	写真	追加	<p>「やさいが入っただんボール」の写真について、次のような説明文を追加した。</p> <p>「はこだてポテト」「宮崎きゅうり」と書かれています。</p>	理解のしやすさ
	地図	削除	<p>「しょうたさんのまとめ」の地図については削</p>	理解のしやすさ

3・4 上			追加	除し、産地と品物を表で表した。	
	62, 63	地図	削除 追加	「お客さんはどこから（りこさんのまとめ）」の地図については削除し、地図で表されている交通手段についての説明を追加した。	理解のしやすさ
	64, 65	写真	追加	「お年よりやしょうがいのある人せんようのちゅう車場」の写真について、次のような説明文を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">車をとめるスペースに車いすのマークが書かれています。</div>	理解のしやすさ
	70, 71	地図	修正	「わたしたちの市でつくられる主なやさい」の地図については単純化して点図化した。	触覚による把握
		グラフ	修正	「市の主なやさいの出荷りょう」のグラフを点図化した。	触覚による把握
	74, 75	地図	削除	関内さんのねぎ畑の位置を示す地図を削除した。	指導者による補足
	80, 81	地図	修正	「関内さんのまがりねぎの送り先」の地図は、単純化して次のような図に修正した。 <div style="text-align: center; margin: 5px auto;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">関内さん</div> ↓ <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市の中央市場</div> → <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ほかの市や町へ</div> </div> ↓ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">店にならぶ</div> ↓ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">私たちの家</div> </div>	触覚による把握
		地図	削除	「仙台市のまがりねぎの送り先」の地図を削除した。	指導者による補足
	84, 85	地図	修正	「工場の多いところ」の地図を点図化した。	触覚による把握
		グラフ	修正	「市で30人以上の人がはたらいている工場の数」のグラフを点図化した。	触覚による把握
	86, 87	地図	削除	「かまぼこ工場」の地図を削除した。	指導者による補足
	88, 89	写真	追加	「すり身を入れておくそうこ」の写真について、次のような説明文を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">すり身の入ったダンボール箱がたくさん積み重ねられています。</div>	理解のしやすさ
		地図	修正	「原料はどこから」の地図については単純化して点図化した。	触覚による把握
	94, 95	地図	削除	「ささかまぼこの送り先1」と「ささかまぼこの送り先2」と「はたらく人はどこから」の地図を削除した。	指導者による補足

3・4 上	96, 97	まなびの ポイント	修正	「まなびのポイント」の2つ目の項目を次のように修正した。  2. 工場の仕事の流れやくふうをまとめてみよう	理解のしやすさ
		ノート	修正	「工場ではたらく人」「お客さん」「トラックで運ぶ」の項目の流れが分かるように修正し、文章でまとめた。	理解のしやすさ
	100, 101	地図	修正	松山市の位置を示す地図を点図化し、巻末に掲載した。日本地図1枚の中に松山市の位置を示した。	触覚による把握
		写真	追加	「ゆうとさんのおじいさんの家にあった古い道具」の写真について、道具の名称を追加した。  1. ランプ      2. れいぞう庫 3. アイロン    4. ちく音き	理解のしやすさ
	102, 103	写真	追加	「学校のきょう土しりょう室」の写真について、次のような説明文を追加した。  子どもたちが、ゆたんぼ、火ばち、はかり、ランプ、そろばん、くわを持っています。	理解のしやすさ
	106, 107	タイトル	追加	小単元名「昔のくらしの様子」を追加した。	単元の構造を明確にするため
		まなびの ポイント	修正	「まなびのポイント」の1つ目の項目を削除し、残りの2つの項目を次のように修正した。  1. 次の道具は何に使うものか考えてみよう。 囲炉裏、鉄瓶、火ばし、灰ならし、五徳、石臼、かご、かまど、羽釜、箕、水がめ、おけ、しよいこ、わらぐつ、蓑、井戸 2. 昔のくらしと今のくらしのちがいについて考えてみよう。	理解のしやすさ
	110, 111	まなび方 コーナー	修正	「道具年表の作り方」を次のように修正した。  1. 100年前の出来事から順に書く。 2. くらしのうつりかわりが分かるように、だれが子どものころだったかをかきこむ。 3. くらしの様子が分かる文を書く。調べた道具の絵や写真、調べた時の道具メモはなくてもよい。	理解のしやすさ
	114, 115	ノート	修正	「はるかさんのノート」の写真は削除し、「この部屋は『坊っちゃんの間』です。」の一文を次のように修正した。	理解のしやすさ

3・4 上				この建物には「坊っちゃんの間」という部屋があります。	
	116, 117	まなびのポイント	修正	「まなびのポイント」の2つ目の項目を次のように修正した。  2. ICレコーダーなどに録音したり、話を聞いたりして、わかったことをノートに整理しよう。	児童が活用しやすい道具であるため。
	120, 121	地図	修正	「松山れきしマップ」の地図については市の概形を点図化して、1～6の番号を付した。	触覚による把握
3・4 下	4, 5	まなびのポイント	修正	「まなびのポイント」の1つ目の項目を次のように修正した。 「絵の説明を読んで、どんな人が働いているか話し合ってみよう。」	理解のしやすさ
		絵	削除追加	「119番の電話から消防自動車がとうちゃくするまで」の絵を削除して、次のように文章化した。  9:34 「火事です」と通信指令室に電話が入る。 9:35 消防署から消防車が出動する。 9:39 火災現場で消火を始める。	理解のしやすさ
	4, 5	絵	削除追加	「火事が起きたときの様子」の絵を削除して、次のように文章化した。  ビルで火事が起こり、ほのおが窓から飛び出しています。ポンプ車のホースからすごいきおいで水を出し、火を消しています。はしご車は、ビルの屋上まではしごを伸ばし、逃げおくれた人々を救助しています。歩道には、火事の様子を見守る人達があります。警察官は、火事の現場に人や車が近付かないよう交通整理をしています。救急車は、けが人を病院に運んでいます。テレビ局のヘリコプターが空から火事の様子を撮影しています。	理解のしやすさ
		グラフ	修正	「市の人口の変化」と「市の火事の数の変化」のグラフは、合わせて数表とした。	理解のしやすさ
		地図	修正	「山口県の位置」を点図化し、巻末に掲載した。日本地図1枚の中に山口県の位置を示した。	触覚による把握
	8, 9	表	修正	「消防士のきんむ時間表」を点図化した。	触覚による把握
10, 11	絵	削除	「火事が起きたら」は、絵は削除して文章化。	理解のしやすさ	

3・4 下		追加	<p>119番への電話で通信指令室に火事の発生が伝えられます。</p> <p>通信指令室から</p> <p>消防しょへ…〇〇町3丁目の住宅から出火しました。至急出動してください。出火現場にはけが人がいる模様です。救急車も出動してください。</p> <p>消防団へ…〇〇町3丁目の住宅から出火しました。出動してください。</p> <p>病院へ…けが人が運ばれます。じゅんびをお願いします。</p> <p>警察署へ…交通渋滞が発生しています。車と人の整理をお願いします。</p> <p>水道局・電力会社・ガス会社へ…〇〇町3丁目の住宅から出火しました。協力をお願いします。</p>		
		地図	修正	「山口市と消防のために協力している県内の市や町」は点図化した。	触覚による把握
	12, 13	地図	修正	「まちの消防しせつをしめた地図」は点図化した。	触覚による把握
	17	新聞	修正	消防新聞の通信指令室の説明の図を文章化した。	理解のしやすさ
				<p>火事が起きると、119番の電話が通信指令室につながります。そこから、消防署・消防団・水道局・電力会社・ガス会社・警察署・病院に連絡が行きます。火事が起きると、様々な人が協力していることがわかりますね。</p>	
	20, 21	地図	修正	「静岡県的位置」を点図化し、巻末に掲載した。日本地図1枚の中に静岡県的位置を示した。	触覚による把握
	22, 23	写真	追加	<p>「公園の防災倉庫とかん板」の写真について、次のような説明文を追加した。</p> <p>看板には、広域避難地、三島よず公園、ここは海拔3.2mと書かれています。</p>	理解のしやすさ
	24, 25	地図	修正	「海に近い地いきの大きな地震が来たときに想定される津波の高さ」「海に近い地いきの津波ひなんビル」の地図については単純化して点図化した。	触覚による把握
26, 27	資料	追加	「自主防災隊の主な活動」の絵を削除し、次のような説明文を追加した。	理解のしやすさ	

3・4 下			<p>南区版避難行動計画「災害から生き抜くために」保存版の表紙には、この冊子で行う3つのこととして</p> <p>①避難場所や経路を考える ②防災マップを目立つところにはる ③自分だけの「防災カード」を作ると書かれています。</p>		
	32, 33	絵	削除追加	<p>「日ごろからそなえておくものの例」の絵を削除し、絵で示されているものの名前を表した。</p> <p>水 カップめん カン詰 レトルト食品 懐中電灯 ラジオ 電池 下着 防災ずきん ヘルメット 軍手 トイレトペーパー ティッシュペーパー 地震が起きた時にそなえて、他に日頃からどのようなものを用意しておけばよいか、考えてみましょう。</p>	理解のしやすさ
		絵	削除追加	<p>「家族防災会議の様子」の絵を削除し、次のような説明文を加えた。</p> <p>お父さん、お母さん、男の子、女の子の四人で家族防災会議を開いています。 ア. 避難場所を決めておく イ. 火の始末を忘れずにする ウ. 持って行くもののぶたんを決めておくなど話し合っています。</p>	理解のしやすさ
	34, 35	地図	修正	<p>「宮崎県の位置」を点図化し、巻末に掲載した。日本地図1枚の中に宮崎県の位置を示した。</p>	触覚による把握
		グラフ	修正	<p>「台風などのとき、48時間の間に大淀川にふった雨の量」の棒グラフについては点図化した。</p>	触覚による把握
	地図	削除追加	<p>「宮崎市がつくった『こう水ハザードマップ』」の地図を削除し、次のような説明文を追加した。</p> <p>川沿いでは2～5m、宮崎駅周辺も0.5～1mのしん水予想がされています。また、病院やひなん所の位置もわかるようになっています。</p>	理解のしやすさ	
36, 37	絵	修正	<p>「河川改しゅうの方法」の絵を削除し、説明文を次のように修正した。</p> <p>1・2の写真の場所では、土などを盛って堤防を作りました。他に、河川敷を掘り下げて川を広げる方法もあります。</p>	理解のしやすさ	

3・4 下	38, 39	まなびの ポイント	削除	「まなびのポイント」の1つ目の項目「イラストを見て、どのような場所があぶないかを話し合ってみよう。」を削除した。	指導者による補足
		地図	修正	「千葉県の位置」を点図化し、巻末に掲載した。日本地図1枚の中に千葉県の位置を示した。	触覚による把握
	40, 41	グラフ	修正	「市の事故の数の変化」「市の事件の数の変化」のグラフは点図化した。	触覚による把握
	42, 43	写真 絵	削除 追加	「交通事故現場で働く人たち」の写真・絵を削除し、次の説明文を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">けがした人を救急車で運ぶ人、交通整理をして道路の安全を確保する人、なぜ事故が起きてしまったかを調べる人などがいます。</div>	理解のしやすさ
		絵	削除 追加	「事故が起きたときのれんらくの流れ」の絵を削除し、次のような説明文を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">事故の現場から110番に電話をかけると、県の警察本部にある通信指令室につながります。通信指令室から事故現場近くの交番、パトロールカー、消防署に連絡がまわります。病院には、消防署から連絡が入ります。</div>	理解のしやすさ
	46, 47	資料	削除 追加	「さまざまなこども110番のステッカー」を削除し、次のような説明文を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">こども110番の店、こども110番の駅など、さまざまなこども110番のステッカーがあります。</div>	理解のしやすさ
		図	削除 追加	「わたしたちのまちの安全を守るしくみ」の図を削除し、次のような説明文を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">けいさつ・市役所と、会社・店（こども110番の店）と、学校・町内会（こども110番の家・自転車パトロール・登下校時の立ち番）が、お互いに知らせ合い、町の人々の安全を守っています。</div>	理解のしやすさ
	48, 49	資料	修正	「市川市の防犯まちづくり計画」のタイトルを次のように修正した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">市川市の防犯まちづくり検討委員会が作成した防犯まちづくり計画書</div>	理解のしやすさ
	52, 53	地図	修正	「安全マップ」は簡略化して点図化した。	触察による把握
	54	絵	削除	絵を削除し、文章を次のように修正した。	指導者による補足



3・4 下		修正	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>私たちが住んでいるまちでは、住みよいくらしをつくるためにだれがなにをしているかな。</p> </div>		
	56, 57	グラフ	修正	「市の給水量の変化」と「市の人口の変化」のグラフは、合わせて数表化した。	理解のしやすさ
		地図	修正	「岡山県の位置」を点図化し、巻末に掲載した。日本地図1枚の中に岡山県の位置を示した。	触覚による把握
	58, 59	絵	削除 修正	<p>「水のじゅんかん」の絵を削除し、次のような説明文を追加した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>海や地上にある水が水蒸気になり、雨が降り、水がダムや川に流れこみ、やがてその水は海に流れこみます。また、地下にすいこまれた水は、地下水となって海に流れこんだりします。</p> <p>降った水が浄水場から私たちの学校や家に送られ、使われた水は下水処理場を通過して、海に流れこみます。そして、沢山の水がまた水蒸気になってと、空、陸地、海をぐるぐるまわっているのを、水のじゅんかんと言います。</p> </div>	理解のしやすさ
		絵	修正	「学校の中の水道管」の絵を簡略化して点図化した。	触覚による把握
	60, 61	地図	修正	「岡山県の地図」は簡略化して点図化した。地図のさくいんは、「あさひかわ」「あさひがわ」「あさひさんち」「あしかが」のみ記載した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	62, 63	グラフ	修正	「旭川の上流（蒜山高原）の1年間の雨の量」と「岡山市の1年間の雨の量」のグラフは、合わせて数表化した。	理解のしやすさ
		地図	修正	「岡山県のダム」の地図は簡略化して点図化した。	触覚による把握
	64, 65	地図	修正	「岡山市のじょう水場」の地図は簡略化して点図化した。	触覚による把握
		絵	修正	資料番号4のタイトルを「水がきれいになるまで」とした。絵を削除し、説明文を次のように修正した。	理解のしやすさ

			<p>取水口（川から水を取り入れます）→ちんさち（水の中の砂やごみを沈めます）→急速かくはんち（ぎょうしゅうざいという薬品を入れて、水をかきまぜます）→薬品ちんでんち（ぎょうしゅうざいで固まりになったごみをしずめます）→急速ろかち（薬品ちんでんちで沈まなかったごみを取り除きます）→じょう水ち（塩素を入れて消毒します）（ふく流水という川の下にしみ込んだ地下水もじょう水ちに送られます）→送水ポンプを使って家庭・工場・学校へ送られます。浄水場では、中央管理室のコンピューターで水の状態を管理しています。</p>	
66, 67	絵	削除追加	<p>「じょう水場から水がおくられるしくみ」の絵を削除して、次のような説明文を追加した。</p> <p>浄水場できれいにされた水は、配水池にためられ、送られます。水は、水道管を通して学校やお店、工場や家に届きます。高い建物では、受水槽にためた水をポンプで屋上まで送り、各階で使えるようにしています。</p>	理解のしやすさ
68, 69	地図	修正	「岡山市の下水しより場」の地図を簡略化して点図化した。	触覚による把握
	絵	修正	<p>「使われた水のゆくえ」の絵を削除し、次のような説明文を追加した。</p> <p>使われた水は、下水しより場できれいにされ、川などに流されます。そして、水蒸気となり、雨になって繰り返し使われます。</p>	理解のしやすさ
70, 71	絵	削除	「水のじゅんかん」の絵は58ページで説明してあるので削除した（地下水の利用については補足が必要）。	指導者による補足
72, 73	地図	削除	新庄村の位置を示す地図は削除した。	指導者による補足
74, 75	地図	削除追加	<p>「『旭川源流の碑』を立てた場所」の地図を削除し、次のような説明文を追加した。</p> <p>毎年一つずつ碑を立てていて、現在14個あります。</p>	理解のしやすさ
	絵写真	削除追加	「わたしたちにできること」の絵と写真を削除し、「節水する」の項目は、次のように修正した。	理解のしやすさ

3・4 下			食器洗いは、蛇口をこまめにしめる。歯磨きは蛇口をしめて磨く。洗濯などはお風呂の残り湯を使う。洗車はバケツに水をくんで行く。		
	76, 77	グラフ	修正	「一家族・1か月あたりの電力消費量の変化」と「日本の発電量」のグラフについては数表化した。	理解のしやすさ
	78, 79	地図	修正	「埼玉県内に電気をとどける主な発電所」の地図は簡略化して点図化した。埼玉県の位置を示す地図は点図化し、巻末に掲載した。日本地図1枚の中に埼玉県の位置を示した。	触覚による把握
	80, 81	資料	修正	「宇都宮市のごみの分け方」を次のように文章化した。  資源物9分別、他に燃却ごみ、不燃ごみ、危険ごみ、粗大ごみと5種13分別になっています。	理解のしやすさ
		グラフ	修正	「市のごみの量」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
		地図	修正	「栃木県の位置」を点図化し、巻末に掲載した。日本地図1枚の中に栃木県の位置を示した。	触覚による把握
	82, 83	マーク	削除 修正	「リサイクルマーク」のうち、ペットボトルとスチールは削除した。紙・プラスチック・アルミは点図化した。	指導者による補足 触覚による把握
	84, 85	絵	削除 追加	「もえるごみ」「しげん物」「もえないごみ」「そ大ごみ」「きけんなごみ」の絵を削除し、次のような説明文を追加した。  1. もえるごみ…料理くず おもちゃ ビデオテープ 2. しげん物…ビン カン ペットボトル 3. もえないごみ…割れたコップや皿 やかん 4. そ大ごみ…タンス フトン 5. きけんなごみ…包丁 ハサミ 電球	理解のしやすさ
	86, 87	絵 写真	削除 追加	「せいそう工場のしくみ」は絵・写真を削除し、次のような説明文を追加した。	理解のしやすさ

			<p>1. 計量機（収集車毎に運んできたごみの重さをはかる。）          2. プラットホーム（集めてきたごみをここから投入する。）          3. クレーンの操縦室（ゴミクレーンを操縦する。）          4. ごみピット（すごく大きくて深い。どれ位のごみが入るのだろう。）          5. 排ガス処理装置（体に害のあるものを取り除いてきれいにするようにしている。）          6. 中央制御室（コンピューターを使って工場を管理している。）          7. 燃やした灰（一部を取り出して再利用する。）          8. 発電システム（蒸気を使ってこうりつよく発電している。）</p>	
90, 91	絵	削除追加	<p>「びん・かん・ペットボトルのリサイクルの流れ」の絵を削除して、次のような説明文を追加した。</p> <p>1. びん→カレット→再生びんなど          2. かん（アルミ・スチール）→再生地金・スラブ→アルミ、鉄製品や再生かんなど          3. ペットボトル→ペレット→服や再生ペットボトルなど</p>	理解のしやすさ
92, 93	グラフ	修正	「市の人口の変化」と「市のごみの量の変化」のグラフは合わせて数表化した。	理解のしやすさ
	地図	修正	「見学したせいそう工場を利用する宇都宮市以外の地いき」の地図は簡略化して点図化した。	触覚による把握
94, 95	タイトル	追加	小単元名「グループでまとめる」を追加した。	単元の構造を明確にするため
100, 101	絵	削除追加	<p>「下水しよりのしくみ」の絵を削除し、次のような説明文を追加した。</p> <p>家庭などで使われた水→下水道管→中継ポンプ場→下水をポンプでくみ上げる→下水の小さなごみや泥などを沈める→微生物の集まりである泥で下水をきれいにする→泥を沈める→消毒→細かいごみを取り除く→という工程を経て、処理水を琵琶湖に流す。          各工程ででた泥は集めて水分を取り、さらに水分を絞る。その泥を燃やして灰にし、灰を溶かして小石のように固める。</p>	理解のしやすさ

3・4 下		グラフ	修正	「下水道を利用している人々の数の変化」のグラフは数表化した。	理解のしやすさ
		地図	修正	「滋賀県の位置」を点図化し、巻末に掲載した。日本地図1枚の中に滋賀県の位置を示した。	触覚による把握
	102, 103	地図	修正	「熊本県の位置」を点図化し、巻末に掲載した。日本地図1枚の中に熊本県の位置を示した。	触覚による把握
	104, 105	まなびのポイント	削除	「まなびのポイント」の1つ目の項目の「橋の写真を見て、気づいたことを発表しよう」を削除した。	指導者による補足
		本文	修正	「上の写真を見ながら」を「通潤橋の写真を見ながら」に修正した。	理解のしやすさ
		写真	削除	熊本県の地図は前回扱ったので削除した。	指導者による補足
	108, 109	まなびのポイント	修正	「まなびのポイント」の1つ目の項目を「地図や鳥かん図を見て」から「地図や鳥かん図から」に修正した。	理解のしやすさ
		カード	削除	「用水路にそって、田畑や家が見られる。」と「北部から南部に向けて、通潤橋を通る用水路が引かれている」のカードを削除した。	指導者による補足
		地図	修正	「通潤用水とまわりの地図」を簡略化して真空成形器で作成した。	触覚による把握
		図	修正	「アからイの断面図」を簡略化して点図化した。	触覚による把握
		地図	削除	「通潤用水とまわりの鳥かん図」を削除した。	指導者による補足
	110, 111	絵	修正	「通潤橋と白糸台地」の絵を簡略化して点図化した。	触覚による把握
図		修正	「取り入れ口から通潤橋まで」は簡略化して点図化し、次のように説明文を修正した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">通潤橋から約6 kmも離れた笹原川の上流に水の取り入れ口を作りました。 通潤橋まで、水の高さをできるだけ保つように流しました。 途中に、土や砂をためる所や流し口をつくりました。</div>	触覚による把握	
112, 113	絵	修正	「通潤橋の水の流れ」の絵を簡略化して点図化した。	触覚による把握	
	図	修正	「水がふき上がる原理」の図を点図化した。	触覚による把握	

3・4 下	114, 115	絵	修正	「石の管」の絵を削除し、次のような説明文を追加した。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> たてよこ約90cmのサイコロ状の石の真ん中に水を通すためにたてよこ30cmの穴があけてあります。一つひとつの石をつなぐために、しっくいをつめるみぞが掘ってあります。 </div>	理解のしやすさ
	116, 117	絵	修正	「通潤橋がつくられる流れ」の絵を簡略化して点図化した。	触覚による把握
	118, 119	地図	削除追加	「通潤用水と水田の分布」の地図を削除し、次のような説明文を追加した。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 用水路ができて、田が大幅に広がり、今まで離れていた田がつながって大きくなったりもしました。 </div>	理解のしやすさ
		グラフ	修正	「通潤橋ができた前後の田の広がり方」の棒グラフを点図化した。	触覚による把握
	120, 121	本文	修正	「紙しばいにまとめる」学習活動を「おはなしにまとめる」に修正した。	理解のしやすさ
	122, 123	地図	修正	「京都府の位置」を点図化し、巻末に掲載した。日本地図1枚の中に京都府の位置を示した。	触覚による把握
	124, 125	地図	修正	「島根県の位置」を点図化し、巻末に掲載した。日本地図1枚の中に島根県の位置を示した。	触覚による把握
	126, 127	グラフ	修正	「佐賀県ののりのはん売量のうつり変わり」のグラフは数表化した。	理解のしやすさ
		地図	修正	「佐賀県の位置」を点図化し、巻末に掲載した。日本地図1枚の中に佐賀県の位置を示した。	触覚による把握
	128, 129	本文	修正	項目名「知っている都道府県を地図帳で確かめよう」およびドラえもんの「 <u>地図帳</u> などを使って」をそれぞれ「 <u>地図</u> 」に変更した。	理解のしやすさ
		図絵	削除	絵と絵地図は削除し、次項以降に出る地図で確認できるようにした	理解のしやすさ
			補足	7県の特徴がわかる児童の言葉は、総務省の「都道府県コード」の順番に並べた。(北海道→福島県→東京都→京都府→岡山県・香川県→鳥取県→徳島県) 以下についても、都道府県が順不同で羅列がみられる場合は、上記に基づいて配置する。	理解のしやすさ
	130, 131	文章	補足	項目「日本の都道府県について、 <u>あとの地図</u> を	理解のしやすさ

			見ながらそれぞれの名前と場所を確認しよう」と補記した。	
	地図	修正	<p>日本地図は、以下のように掲載した。</p> <p>(1) 日本全図＝7 地方区分がわかるもの</p> <p>(2) 地方別、都道府県地図</p> <p>※都道府県には県名と県庁所在地名のみ記した。また、7 地方は北から順に配置し、掲載すべき面積の広い沖縄県のみ別図に一枚とし、合計8 地方の扱いとした。</p>	触覚による把握 理解のしやすさ
	カード	削除 修正	<p>「都道府県のカード」では、まず、課題の冒頭に以下の文を補記した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>都道府県の形を、〇〇ページから〇〇ページの地図を見ながら調べよう。</p> </div> <p>各県の形を削除し、都道府県コードの順に掲載した。</p> <p>県名の空欄はそのまま残した。(135ページまで同様に扱う)</p>	理解のしやすさ
	文章	修正	<p>「考えてみよう」の文章は、以下の通り修正した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「空欄になっている都道府県の名前は、地図を参考にしてノートに書き出しましょう。」</p> </div>	理解のしやすさ
132, 133	絵 地図	削除 修正	地図と絵は削除し、都道府県コード順に絵として掲載されている特産品を言葉でリスト化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	吹き出し	修正	<p>のび太の吹き出しを、一部変更した</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「かつおは、どの都道府県の特産品かな」</p> </div>	理解のしやすさ
134, 135	地図	削除	原典に地名等がなく、学習目的を明確化させるため、地図は削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	吹き出し	修正	<p>のび太の吹き出しを、一部変更した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「空から見てみると、山がたくさんあるよ。川や湖の様子もわかるよ。」</p> </div>	理解のしやすさ
136, 137	地図	削除 修正	地図「地図帳の兵庫県」は「兵庫県の地図」と改称したうえで、県名・県庁所在地名・新幹線と周辺の府県名のみを記した。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
138, 139	本文	修正	<p>学びのポイントの1を次のように修正した。</p> <p>「県の<u>地図</u>を見て気づいたことを話し合おう」</p>	理解のしやすさ 触覚による把握
	地図	修正 削除	<p>「兵庫県の地勢図」を「兵庫県の地図」に改称した。</p> <p>下記の断面図にかかわる地名と、県庁所在地、平野・盆地・山のみ掲載した。</p>	指導者による補足

3・4 下			また、「地形図に対応した断面図」として、原典よりも理解しやすい形に簡略化して表現した。	
	まなび方 コーナー	補記	地勢図を読み取ることが難しいので、以下のよう にタイトルの後に補記した。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 地勢図からは、次のようなことを読み取ることが できます。 </div>	指導者による補足
	140, 141	本文	修正 補記 学びのポイントの1を次のように修正した。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「<u>土地利用図</u>を見て、気づいたことを話し合 おう。」 </div> 本文中の人物紹介に、以下のよう に補記した。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「<u>淡路島</u>にあるあわじ花さじきの飯田さんの 話」 </div>	理解のしやすさ
		地図	修正 「兵庫県の土地利用図」は、「市街地」と「田 ・畑・果樹園」に絞って点図化した	触覚による把握 指導者による補足
	142, 143	地図	修正 地図「兵庫県の市や町」は点図化した。教科書 本文にある以下の市町のみ位置を示した。その 他の市や町は別表にまとめて提示した。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 神戸市 豊岡市 養父市 姫路市 淡路市 洲本市 南あわじ市 </div> また、この地図に関連してゆうとさんのセリフ を以下のよう に修正した。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「県の南部には、面積が狭い市や町が多く見 られるよ。」 </div>	理解のしやすさ 触覚による把握
		地図	削除 修正 補記 地図「しゅくしゃくによる地図の違い」は、地 形図を見ながら理解することが難しいため、図 を削除し、解説に以下の点を修正、補記した。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「地図には、<u>学校のプールの長さ25mを1cm で表すものと、1mmで表すもの、0.1mmで表 すものなどがあります。</u>このように、どれだ け…（以下略）」 </div>	理解のしやすさ 指導者による補足
	144, 145	本文	修正 学びのポイントの2を次のように修正した。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「港や空港の位置を<u>地図</u>でたしかめよう。」 </div>	触覚による把握 理解のしやすさ
		地図 絵	削除 地図「県内の主な道路や鉄道の広がり」は点図 化した。教科書本文にある以下の名称のみ地図 に提示した。	触覚による把握 理解のしやすさ



			神戸 姫路 豊岡 中国自動車道 山陽自動車道 播但連絡道路 神戸淡路鳴門自動車道 山陽新幹線	
146, 147	地図	削除	画像「ホームページにした兵庫県の産業マップ」は、内容の特性から実際にあっても児童が確認することが難しいため、削除した。	指導者による補足
148, 149	地図	削除	地図「地図帳の兵庫県」は同内容の再掲となるため、削除した。なお、図中のコメントは残し、教科書の取り扱い順（地形→土地利用→市や町→交通→産業）の順に掲載した。	指導者による補足 理解のしやすさ
150, 151	地図	削除	前項（142ページ）で取り上げた地図と同内容でそこを参照させるため、このページの地図を削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
152, 153	地図	削除	前項（142ページ）で取り上げた地図と同内容でそこを参照させるため、このページの地図を削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
154, 155	地図	修正	地図「原料の土がとれるところ」は、要素を教科書本文に必要な点に絞って点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
		削除 補記	絵地図「たくさんのかま元」は削除し、以下の文を補記した。  今田町には、50軒以上のかま元があります。	指導者による補足
	絵	削除 補記	絵を削除し、以下の文を補記した。  <u>のぼりがまは、火をおこす火どころから順に、焼成室、かまづめ出入口、まき投入口、けむりだしが細長く並んでいます。</u> 焼き物は焼成室にかま入れしたあと、… (後略、下線部が補記部分。以下は原典通り)	理解のしやすさ 指導者による補足
156, 157	写真	補記	「ねんどをこねる」から「のぼりがまで本焼き」の6枚の写真は、「丹波立杭焼ができるまで」という一括したテーマとして扱った。	理解のしやすさ
158, 159	地図	削除	「りこさんのノート」中の「篠山市の場所」を示す地図は削除した。	理解のしやすさ
160, 161	地図	削除	前項（142ページ）で取り上げた地図と同内容でそこを参照させるため、このページの地図を削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
166, 167	グラフ	修正	グラフ『『コウノトリの舞』の印をつけた農産物の栽培面積の変化』は、数表化して示した。	理解のしやすさ

3・4 下		地図	削除	「ゆうとさんのノート」の「豊岡市の場所」を示す地図は削除した。	理解のしやすさ
	168, 169	地図	削除	前項（142ページ）で取り上げた地図と同内容でそこを参照させるため、このページの地図を削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	172, 173	グラフ	修正	グラフ「姫路城外国語ガイドが案内した観光客数の変化」は、数表化して示した。	理解のしやすさ
	174, 175	地図	削除	「はるかさんのノート」の「姫路市の場所」を示す地図は削除した。	理解のしやすさ
	176, 177	表	補足	このページの表は、教科書の掲載順に点訳、整理することとした。（篠山市，豊岡市，姫路市）	理解のしやすさ
	180, 181	地図	修正 削除	「神戸港と外国とのつながり」は、結ばれる国や地域の名前を具体的に出す形で、表にした。	理解のしやすさ
	182, 183	地図 国旗	修正 削除	「兵庫県と姉妹・友好ていけい先のある国とその国旗」は、世界地図は削除し、本文中に記載のあるフランス，中国，ロシアのみ国旗を図案化して掲載する。 その他の国は国名のリストのみ掲載する。	理解のしやすさ 触覚による把握 指導者による補足
	184, 185	地図	修正 削除	「空と海とのつながり」は、兵庫県と結びつきのある空港や港を，リスト化して表記し，地図は削除する。	理解のしやすさ
	186, 187	地図 絵	修正 削除	このページに出てくる地図や写真等はすべて削除した。また各登場人物のセリフは，以下の順に掲載した。 (186ページ) はるか→ゆうと→あや→せんせい→しょうた (187ページ) ドラえもん→しずか→のび太 その上で，以下のように修正を加えた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">       ドラえもん「日本とそのまわりを，もっと広く考えて学習するよ」        しずか「どんな内容を学習するか，すこしのぞいてみたよ」     </div>	理解のしやすさ
188	索引	削除	このページの地図と索引は，すべて削除した。	理解のしやすさ	

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考	
5上	目次		追加	単元名，小単元名の次の項目を（数字）項目の書式で追加して記載した。	理解のしやすさ	
	2，3	文章	修正	「はじめに」および本文の表現を以下のように変更した  地球と世界の広がりについて，調べたいと思ったことを話し合ひましょう。  地球儀や教科書，地図帳でも調べてみよう	理解のしやすさ	
	4，5	文章	修正	「やってみよう」の1. と2. の文を以下のように修正した。  1. ユーラシア大陸，北アメリカ大陸…（中略）…南極大陸の位置や広がり調べよう。 2. 地球儀や地図帳，教科書の地図を見て，太平洋，大西洋，インド洋がそれぞれどこにあるのか，またどの大陸に囲まれているのか調べよう。	理解のしやすさ	
		地図	修正	当該ページの世界地図は，原典4ページ下側の地図を基本とし，6大陸と3海洋の地図に「日本」と「赤道」を入れたものとした。空欄は削除した。	理解のしやすさ 触覚による把握	
	6，7	文章	修正	「やってみよう」の内容を以下のように修正した。  1. 次のア～ツの国について，地球儀や地図帳で位置を調べよう。 ア. アメリカ イ. アルゼンチン …（以下国名の50音順）… ツ. ロシア 2. 自分の知っている国について，国旗やどんな国かななどを調べてみよう。	触覚による把握 理解のしやすさ	
		国旗	修正	国旗は，以下の4カ国について点図化した。 日本，アメリカ，韓国，サウジアラビア （中国は3～4年参照。上記国旗は6年下で再掲出）	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足	
	8，9	地図	修正	「国土の広がり」と周りの国々」は国旗の絵を削除し，位置関係のわかる地図のみ掲出した。	触覚による把握 理解のしやすさ	
			削除	「北方領土の位置」は，上記「国土の広がり」と周りの国々」の中で位置関係を取り扱い，統合した。	指導者による補足	

5 上	10, 11	地図 写真	削除 修正	当該ページの各写真，絵，地図は削除した。世界地図は原典4～5ページ配置の地図を再確認させるようページを指示した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	12, 13	写真	削除	原典13ページ中央の，各地域の位置を示すための日本の衛星写真は削除した。	理解のしやすさ
	14, 15	地図	修正	「世界の主な川の長さや傾き」は，木曾川・信濃川・ロワール川・ミシシッピ川の4つの川に絞って点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
		地図表	修正	「日本の主な地形」は，7地方区分に応じて地域別に分けて点図にし，番号表記を削除して点図化した。なお，「日本の主な平野と盆地」は図とは別に1枚の表にして扱った。	触覚による把握 理解のしやすさ
		図	修正	「国土の地形の割合」は数表化した。	触覚による把握
		図	削除	「さまざまな地形」の図は削除し，ことばの説明のみ残した。	理解のしやすさ
	16	地図	修正 削除	「日本の火山の広がり」は図における地形や標高を削除し，「主な火山」と「6000mより深いところ」のみ点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	17	本文	補足	本文に，以下の補足を付加した。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 白地図を使うと，自分たちで調べたことを地図に整理して表すことができます。 </div>	理解のしやすさ
		本文 地図	削除	「やってみよう」の内容を以下のように変更し，地図を削除した。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 47～76ページの地図【注：原典14～15ページ「日本の主な地形」】をみて，日本の主な地形の名前を書き出してみよう </div>	理解のしやすさ 指導者による補足
	18, 19	地図	修正	「岐阜県と海津市の位置」は，日本地図は削除し，岐阜県と海津市がわかる地図のみ点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
		図	修正	「堤防とまちの様子」は簡略化して点図化した。	触覚による把握
		地図 文章	修正	「三つの川が集まる地域の土地の高さ」は，サーモフォームにて点図化した。三つの川の名称は図中に入れ，海津市の範囲と標高を示した。また，「やってみよう」の課題に番号をつけ，それぞれ以下のように修正した。 なお，図上では海津市という地名は削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足

5 上			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 海面の高さ（0m）よりも低いところを確認してみよう。</p> <p>2. 地図帳で川がどこを流れているか確認してみよう。</p> </div>		
	22, 23	グラフ	修正	「大きな水害の発生件数の移り変わり」のグラフは、数表化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
		図	修正	「120年ほどの前の川の流れ」は、文字を削除し、川の流れのみを示した図を点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
		写真 絵	削除	「今も残る水屋とその内部」については、写真と絵を削除した。	指導者による補足
		写真 絵	削除	「大型の排水機場と排水のしくみ」は絵と図を削除し、以下の文章を補足した。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「輪中の内側の水は、排水機場でモーターを使った排水ポンプでくみ出され、必要なときに普段はしめてある水門が開き、川に流されます」</p> </div>	理解のしやすさ
		写真	修正	「市のホームページの防災画像」の補足を、以下のように修正した。 <u>見たいときの川の様子が見られます。</u>	理解のしやすさ
	24, 25	グラフ	修正	「海津市の主な農産物の作付面積」のグラフは、数表化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
		地図	修正	「海津市の用水路と排水路」の地図は、原典19ページの地図と比較できるような形で、川の流れと水路のみを示して点図化した。	指導者による補足
	26	グラフ	修正	「海津市をおとずれた観光客数」のグラフは、数表化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
		地図	削除	「水辺の自然を生かした施設」の地図は削除し、施設名のみを北から順番にリストの形で示した。	理解のしやすさ
	28, 29	グラフ	修正	「南牧村（野辺山）と東京の月別平均気温」は点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
		地図	修正 削除	「長野県と南牧村・川上村の位置」は日本地図を削除し、長野県内の両村の位置がわかるよう点図化した。	指導者による補足
図		修正	「八ヶ岳高原の土地の様子」は、八ヶ岳と野辺山駅の標高と位置関係が確認できるよう点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ	
地図		修正 削除	「川上村・南牧村付近の土地の利用の仕方」は、以下のような形で点図化し、それ以外は削除し	触覚による把握 理解のしやすさ	

5 上			た。 1. 鉄道線を入れる 2. 野菜生産と牧場のみ塗り分ける 3. 村の位置がわかるよう文字を入れる		
		グラフ	修正	「川上村・南牧村の主な農産物の生産額」は、数表化した。	理解のしやすさ
	30, 31	表	修正	「川上村と南牧村の歴史」は整理しやすいよう年表化した日本地図は削除した。	理解のしやすさ
	32, 33	グラフ	修正 削除	「東京都の市場で取引されるレタスの量」は、整理して数表化した。	指導者による補足 理解のしやすさ
		写真	修正 削除	写真（1）～（9）はタイトル以外を削除した上で、高原野菜作りの流れがわかるよう配置した。	指導者による補足 理解のしやすさ
	34	グラフ	削除 修正	「川上村と南牧村をおとずれた観光客数」のグラフは数表化した。	指導者による補足 理解のしやすさ
	36, 37	地図	削除 修正	「徳島県と三次市、東祖谷地区の位置」は日本地図を削除し、徳島県内の各地域の位置がわかるよう点図化した。	触覚による把握 指導者による補足 理解のしやすさ
		地図	削除 修正	「東祖谷地区の土地の様子」は、100m刻みの標高と川、道路のみを点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	38, 39	写真	削除 修正	写真（1）～（4）はタイトル以外を削除した上で、以下の文章を補足した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">1～4は同じ3月に撮られた写真です。</div> 写真（5）はタイトル以外を削除した上で、以下の文章を補足した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">同じ位置から季節ごとにとった4枚の写真があります。春には桜が、夏には稲の伸びる様子が、秋には紅葉が、冬には雪に覆われる様子がわかります</div>	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
				地図	修正 削除
		40, 41	地図	修正 削除	「月別の台風の主な進路」の図は、7月、9月、11月の3本のみ点図化した。
	図		修正 削除	「季節風」の図は、単純化・模式化して海と風の向きがわかるように点図化した。	
	42, 43	本文	修正	文章中の流れから、43→42ページの順に点訳した。	理解のしやすさ

5 上	図 地図	修正 削除	「気温と降水量のグラフ」は、以下の順に掲載した。 北海道の気候 → 太平洋側の気候 → 日本海側の気候 → 中央高地の気候 → 瀬戸内海の気候 → 南西諸島の気候 日本地図は、6つの地点と境界線のみを入れたもののみを入れた。なお、44ページにある「東京」の雨温図をここに入れた。各雨温図において平均気温が年間最高となる月には、裏点を用いてガイドをつけた。	触覚による把握 指導者による補足 理解のしやすさ	
	44, 45	地図	削除 修正	「沖縄県と那覇市の位置」は日本地図を削除し、沖縄県と那覇市の位置がわかるよう点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
		図	削除	「那覇と東京の気温と降水量」は削除し、原典42～43ページの当該図を参照させるよう指示した。	理解のしやすさ 指導者による補足
		グラフ	修正	「1年間に通る台風の数」のグラフは数表化した。	理解のしやすさ
		絵	修正 削除	絵は削除し、タイトルのあとに次の文を補足した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">屋根はしっくいであらわされ、シーサーと呼ばれる守り神があります。家は塀で囲まれ、ふくぎと呼ばれる林があります。</div>	理解のしやすさ
		文章	補足	「学び方コーナー」の「家の図を読み取る」のあとに、以下の文を補足した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">家の図から、次のようなことができます。</div>	理解のしやすさ
	46, 47	図	修正 削除	「さとうきびづくりの仕事」は、表化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
		グラフ	修正	「沖縄県の主な農産物の作付面積」のグラフは、数表化した。	理解のしやすさ
		地図	修正 削除 追加	「沖縄島とその周辺の土地利用」は「市街地」「耕地・森林・農地」「軍用地」の3段階に区分し、点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	48・49	グラフ	修正 削除	「東京都の市場で取引される小ぎくの数」は、数表化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
		グラフ	修正 削除	「沖縄県を訪れた観光客数の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	50, 51	文章	補足 削除	「まとめる」に「表にまとめよう」のタイトルをつけた。	理解のしやすさ
52, 53	地図	削除 修正	「北海道と十勝地方の位置」は日本地図を削除し、北海道と十勝地方の位置がわかるよう点図	理解のしやすさ 触覚による把握	

5 上			化した。	指導者による補足
	図	削除	「帯広と東京の気温と降水量」は削除し、原典42～43ページの当該図を参照させるよう指示した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	絵	削除 修正	「寒い地域の家のくふう」は、絵を削除し、高いところから順に解説を並べた。 「急な角度のついた屋根」→「二重まど」→「たくさんの断熱材」→「玄関フード」→「不凍せん」→「大きな灯油タンク」→「雪を溶かす温水パイプ」の順番。	理解のしやすさ 指導者による補足
	文章	修正	しずかのコメントを修正した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「139～140ページの学び方コーナーを生かして、家の様子からわかることを書き出しましょう」</div>	理解のしやすさ
54, 55	解説	追加	「用語解説 ヘクタール」に（単位）を加えた。	理解のしやすさ
	写真	削除 追加	「7月下旬の十勝平野」は写真を削除し、次の説明を修正し補足した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">耕作されていない土地はほとんどありません。1本の道から次の道までの幅は545mもあります。畑には緑の部分と茶色の部分があり、茶色の部分は…（後略）</div>	理解のしやすさ
	写真	削除	「坂東さんのもつ大きな機械」の説明のうち「これは」のみ削除した。	理解のしやすさ
	文章	削除 修正	「学び方コーナー」の写真の読み取り方のあとに、以下の文を補足した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">写真を読み取るには、次のようなやり方があります。</div>	理解のしやすさ
56, 57	写真	修正	「小学校でスケートリンクを作る」のあとに「様子」を加えた。	理解のしやすさ
58, 59	写真	修正	5枚の写真のアイヌ語の表記は、点字で表現可能な範囲に適宜修正した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	文章	追加	「まとめる」のタイトルに「表にまとめよう」を追加した。また、表は適宜文章でまとめ、表の空欄は空欄記号で表記した。	理解のしやすさ
60, 61	地図	修正 削除	「秋田県と横手市の位置」は日本地図を削除し、秋田県と横手市の位置がわかるよう点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	グラフ	修正	「横手市の最大積雪量の変化」は、数表化した。	理解のしやすさ
	絵	削除	「流雪溝のしくみ」は絵を削除し、次の文を補	理解のしやすさ



5 上		追加	<p>足した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>川からポンプでくみ上げた水を地下の流雪溝に流します。家や道路から捨てた雪は流雪溝に入ると溶けて、川に流れていきます。</p> </div>	指導者による補足	
	67	地図	削除修正	<p>「米の生産がさかんな地域」の地図は、耕地の中で田のしめる面積が4分の3以上の府県のみを点図化した。</p> <p>その都道府県は次のとおり</p> <p><b>【県番号順】</b></p> <p>宮城県 秋田県 山形県 栃木県 新潟県 富山県 石川県 福井県 岐阜県 三重県 京都府 兵庫県 島根県 岡山県 山口県 香川県 高知県 福岡県 佐賀県</p> <p>「米の収穫量の多い10都道府県」は、県番号順に列挙した。</p>	触覚による把握理解のしやすさ
	68	グラフ	修正	<p>「日本の主な農産物の生産額の変化」の折れ線グラフを点図化した。</p> <p>折れ線グラフを読み取りやすくするため、縦軸を広く取り違いが分かりやすく点図化した。また、横軸は、1960年 1970年 1980年 1990年 2000年 2010年 2011年でプロットした。</p>	触覚による把握理解のしやすさ
		グラフ	削除修正	<p>「主な農産物の生産額のわりあい」の円グラフを削除し、数値化した。</p>	触覚による把握理解のしやすさ
	69～71	本文	修正	<p>原典69ページから71ページは、編集上71ページ、69ページ、70ページの順で入れ替えた。</p>	理解のしやすさ
	71	地図	削除修正	<p>「都道府県別の野菜の生産額」（2011年）の地図を削除し、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1000億円以上</li> <li>2. 500～1000億円</li> <li>3. 300～500億円</li> </ol> <p>の都道府県を整理し、数値化した。</p>	理解のしやすさ
	69	地図	削除修正	<p>「都道府県別の果物の生産量」（2012年）の地図を削除し、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. みかんの生産量が3万トン以上の都道府県</li> <li>2. りんごの生産量が3万トン以上の都道府県</li> <li>3. ももの生産量が1万トン以上の都道府県</li> </ol> <p>に整理し、数値化した。</p>	理解のしやすさ
	70	地図 本文	削除修正 移動	<p>「都道府県別の肉牛・乳牛の頭数」（2013年）の地図を削除し、肉牛・乳牛ごとに都道府県番号順に県名を列挙した。</p> <p>「つなぐ 農産物の産地は～」71ページ「野菜の生産のさかんな地域」の後に移動した。</p>	理解のしやすさ
	72, 73	地図	修正	<p>「日本の土地利用図」は要素を ア. 森林, イ.</p>	触覚による把握

5 上	絵	削除	水田・畑地の要素に分け，2枚の地図に点図化した。 「主な食料の総生産量」の絵は削除し，食料名ごとに全国3位までの都道府県を列挙した。 【例】ア. 米 (860.7) 単位は万トン 1 新潟県 66.4 2 北海道 62.9 3 秋田県 52.9	理解のしやすさ
	吹き出し	修正	ドラえもんの吹き出しを次のように修正した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「産地の都道府県の位置を地図で確かめてみてもいいね。」に修正した。</div>	理解のしやすさ
	やってみよう	修正	次のように一部修正した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">次の例にならって続きを考えて完成させよう。 (例) 米は，日本じゅうでつくられているけれど，とくに東北地方や新潟県，北海道などで生産がさかん。 1. 野菜は，… 2. 果物は，… 3. 畜産は，…</div>	理解のしやすさ
75	地図	削除 修正 追加	日本地図は削除した。 「山形県と庄内平野の位置」とタイトルを追加し点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
76	絵 地図	削除 追加	「庄内平野の鳥かん図」の絵地図を削除し，次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">庄内平野は山形県の北西部にあり，西は日本海に面し，北は鳥海山があります。 平野には，周囲の山地から流れ出る，日向川，最上川，赤川などの川があります。 平野には，酒田市 鶴岡市があり，水田が広がっています。</div>	理解のしやすさ
77	1	追加	「学習問題について予想しよう」の前に，タイトル「学習計画を立てよう」を追加した。	理解のしやすさ
78	写真	削除 追加	写真を削除し，説明を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「最上川」…周辺に田園が広がっています。 「庄内砂丘」…庄内平野の海岸線には砂丘が広がり，砂防林もあります。</div>	理解のしやすさ
79	地図	修正	「庄内平野の土地利用図」は，田，畑，最上川，鳥海山，酒田市，鶴岡市のみ点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	グラフ	削除	「酒田市と宮古市の月別平均気温」の折れ線グ	理解のしやすさ

5 上			修正	ラフを削除し、数値化した。	
	80, 81	写真表	削除修正	「稲の生長と米作りのようす」の写真を削除し、写真のタイトルを3月～10月までのカレンダーに入れ込み文章化した。	理解のしやすさ
	83	図	削除追加	「用水路と排水路のしくみ」の図を削除し次のとおり文章化した。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>水田の地下には用水路として使う太いパイプが埋められています。また、用水路よりも細い地下パイプや補助パイプも埋められています。補助パイプは、もみがらでパイプをつつみ水を吸収できるしくみになっています。そして、水田には給水栓や水を排水するための排水栓があります。排出された水は排水路に流します。</p> </div>	理解のしやすさ 指導者による補足
	84	写真	削除追加	「営農指導員からのアドバイス」の写真を削除し、次のように説明を追加した。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>グリーンプロジェクト情報第8号の紙面には、こまめなほ場管理・観察の徹底で根の活力維持とカメムシ対策を！と書かれています。</p> </div>	理解のしやすさ
	85	グラフ	削除修正	「庄内平野でつくられる品種」の円グラフを削除し数値化した。	理解のしやすさ
	86	絵	削除追加	「カントリーエレベーターの中」の絵を削除し、次のように説明を追加した。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>建物全体が大きな機械と言えます。米は、カントリーエレベーターの中を①荷受け ②計量 ③かんそう ④貯蔵 ⑤ふくろづめして出荷の順で流れていきます。</p> </div>	理解のしやすさ
	87	地図	削除修正	「庄内平野の米が全国に届くまで」の図を削除し次のとおり文章化した。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>北海道へは、フェリーで、そのほかの地域にはトラックや列車で運ばれます。</p> </div> <p>「庄内平野から各地域に運ばれる米の量」は、地方区分別に米の量を数値化した。</p>	理解のしやすさ
		グラフ	削除修正	「米づくりにかかる費用の例」の円グラフを削除し、数値化した。	
	88	グラフ	修正	「米の生産量と消費量の変化グラフ」を点図化した。左右見開きで、左ページは、生産量（棒グラフ）右ページは、消費量（折れ線グラフ）	触覚による把握 理解のしやすさ

5 上			とした。数値は精選し10年ごとに示した。	
	グラフ	削除 修正	「庄内地方の総農家数と専業農家数の割合」の棒グラフを削除し、数値化した。	理解のしやすさ
	グラフ	削除 修正	「農業で働く人数の変化」の棒グラフを削除し、数値化した。数値は精選し10年ごとに示した。	理解のしやすさ
91	グラフ 絵	削除 修正 追加	「りょうたさんのグループの作品」中の「労働時間の変化」の棒グラフを削除し、数値化した。また、作品の表紙の絵に「作品」のタイトルをつけ、「りょうたさんのグループは、事典に『わたしたちの米づくり事典』』というタイトルをつけ、表紙にはカントリーエレベーターや機械を使った稲刈りのようすを描いています。」の説明を追加した。	理解のしやすさ
	まなび方 コーナー	修正	2. の項目を「写真や図などを入れると、見て楽しいものになる。」に修正した。	理解のしやすさ
92	グラフ	修正	「都道府県別の漁業生産額のわりあい」の円グラフを数表化した。	理解のしやすさ
	地図	削除 修正 追加	「主な漁港の水あげ量」の地図のうち、「主な漁港の水あげ量」は、都道府県別にまとめ、その漁獲量を数値化するとともに、文章化した。地図上の漁港「日本近海の海流ととれるおもな魚」として点図化した。また、「日本近海の海流と主な魚」のタイトルを追加し、点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	絵	削除	「大陸だな」の絵は削除した。	指導者による補足
94	絵	削除 修正	「まきあみ漁のしくみ」の絵を削除し、「大きな船と小さな船の2隻で長方形の網を使って包み込んで捕獲する漁をまきあみ漁といいます。2隻の船で魚の群れを追い込み、動力などで網を巻き上げます。」の説明を追加した。	理解のしやすさ
95	グラフ	削除 修正	「長崎漁港の水揚げ量のうちわけ」の円グラフを削除し、数値化した。	理解のしやすさ
	絵	削除 修正	「長崎漁港の水揚げされる魚」の絵を削除し、魚名を記した。	理解のしやすさ
96	絵	削除	「漁港のさまざまな働き」の絵を削除した。本文から絵の内容を読み取らせるとともに指導者の説明を加えるようにする。	指導者による補足
97	写真	追加	写真が、捕った魚がどのような流れで出荷されていくかを表しているため、写真の前に「水あげされた魚の流れ」のタイトルを追加した。	理解のしやすさ
	地図	削除	「魚が運ばれる道」の地図は削除した。5-5	指導者による補足

5 上			分冊で既習の「第3章 わたしたちの生活と工業生産」の「3 工業生産を支えるの(4) 全国へ運ばれる工業製品」の「日本の主な交通もう」の地図を参照させる。		
	99	地図	修正	「かつおが回遊するはん囲」のうち、「わかいかつおが回遊する範囲」は省略した。また、「春から夏にかけての動き」「秋から冬にかけての動き」のうちおもな動きのみ点図に表記した。	理解のしやすさ 触覚による把握
		グラフ	削除 修正	「焼津漁港の水あげ量のうちわけ」の円グラフを数表化した。	理解のしやすさ
		まなび方 コーナー	削除 修正	「上の地図からどんなことがわかるでしょうか。次の点に注目して読み取りましょう。」の説明を次のように修正した。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>地図は、何に注目しているかにより、その表し方がかわります。36～37ページの地図からは、どのようなことを読み取ることができますか。</p> </div> また、2点目の項目を削除した。	指導者による補足 理解のしやすさ
101	地図	修正	「200海里水域と世界の漁場別に見た日本の漁獲生産量」の地図を①「世界の200海里水域」と②「世界の漁場別に見た日本の漁獲生産量」の二つに分けて点図化した。②の点図には領海の区切り線と漁獲量を表す円は省略した。	理解のしやすさ 触覚による把握	
	グラフ	修正	「漁業別の生産量の変化」のグラフを「沖合漁業と遠洋漁業」「沿岸漁業と養殖業」の二つに分けて点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握	
	グラフ	削除 修正	「日本の水産物輸入量の変化」のグラフのうち、1990年、2000年、2010年の輸入量を数値化した。	理解のしやすさ	
102	絵	削除 追加	「ホタテ貝の養しよくのしくみ」の絵を削除し、次の説明を追加した。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>「養殖には、稚貝を丸かごの中で育てる『丸かご式』と貝に穴を開けて吊して育てる『耳づり式』の2通りがあります。どちらも海水20メートルから40メートルの深さの場所で養殖します。養殖する稚貝は、水深8メートルから10メートルの深さの場所に吊されます。」</p> </div>	理解のしやすさ 指導者による補足	
	グラフ	削除 修正	「青森県の養しよくによるほたて貝の生産量」のグラフを数値化した。	理解のしやすさ	
103	絵	削除 追加	「ひらめの資源管理」の絵を削除し、次の説明を追加した。	理解のしやすさ	

5 上			「栽培センターでは、ヒラメの稚魚を1.5cmまで育てて中間育正場を送り、そこで5cmまで育てます。そして海に放流します。底びきあみのあみの目は9cmです。また、水あげしても小さいひらめは海に放します。卸売市場では、全長制限により小さいひらめはありません。	
	グラフ	削除 修正	「青森県のひらめの漁かく量」のグラフを数値化した。	理解のしやすさ
104	1	修正	(7)「漁港別に地図にまとめる」のタイトルを「漁港別にまとめる」に修正した。	理解のしやすさ
105	1	修正	「漁港別の地図をつくろう」のタイトルを「漁港別にまとめよう」に修正した。	理解のしやすさ
	絵地図	削除 修正	「たくみさんたちがまとめた地図」を「たくみさんたちのまとめ」に修正した。絵地図は削除し、文章化した。	理解のしやすさ
106	グラフ	削除 修正	「都道府県別のきゅうりの出荷量の割合」のグラフを削除し、数値化した。	理解のしやすさ
107	グラフ	削除 修正	「宮崎県のキュウリの出荷先別のわりあい」のグラフを削除し、数値化した。	理解のしやすさ
108	グラフ	削除 修正	「東京都の市場に出荷されるレタスの県別わりあい」のグラフを削除し、数値化した。	理解のしやすさ
109	表	削除 修正	「新矢さんの1日」を文章化した。	理解のしやすさ
	グラフ	削除 修正	「東岩井地区の野菜の生産額のわりあい」の円グラフを削除し、数値化した。	理解のしやすさ
	地図	削除 追加	「市場への道のり」の地図を削除し、次のように一部説明を追加した。 「芽吹大橋を経由しても下総利根大橋を経由しても坂東市から東京都の市場まで、1時間半でレタスを運ぶことができます。」	理解のしやすさ
111	グラフ	削除 修正	「鹿児島県の農産物の生産額のわりあい」のグラフを削除し、数値化した。	理解のしやすさ
112	グラフ	削除 修正	「日本産の価格と外国産の価格」のグラフを削除し、数値化した。	理解のしやすさ
113	グラフ	修正	「日本と主な国の食料自給率」のグラフのアメリカと日本の2国について、1970年、1980年、1990年、2000年、2009年のみを点図化した。	理解のしやすさ 指導者による補足

5 上		グラフ	削除 修正	「主な食料の自給率」のグラフを削除し、数値化した。	理解のしやすさ
	115	グラフ	削除 修正	「食料品別輸入量の変化」のグラフを削除し、1970年から10年ごとの輸入量を数値化した。	理解のしやすさ
		グラフ	削除 修正	「産業別の人口のわりあいの変化」のグラフを削除し、数値化した。	理解のしやすさ
		グラフ	削除 修正	「土地利用の変化」のグラフを削除し、1970年、1990年、2010年のみの各輸入量の概数を数値化した。	理解のしやすさ
	117	絵	削除 追加	「環境と食料生産」の絵を削除し、次のように一部説明を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「水田は、さまざまな生き物のすみかになっています。空から雨が降り、水は森林に蓄えられ畑や田を潤します。また、水は、川から海へと流れ、水によってすべてがつながっていることがわかります。」</div>	理解のしやすさ
119	表	削除 修正	表の中のカット1～カット3の映像を削除し、ア．行動、イ．会話、ウ．時間の項目とした。また、次の「自分でつぎのカットを考えてみよう」は、「自分でカット4を考えてみよう」とし、ア～ウを考える課題とした。	理解のしやすさ	
120	索引	削除			
5 下	目次		追加	単元名、小単元名の次の項目を「(数字) 項目」の書式で、追加して記載した。	理解のしやすさ
	2	写真	削除 追加	写真「現在の家庭の様子」は削除し、次のように補足した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">電子レンジ、トースター、冷蔵庫、炊飯器、鍋などがあるキッチンの様子です。</div>	理解のしやすさ
	5	地図 写真	削除	日本地図と写真は削除し、工業製品を簡条書きで表記した。	理解のしやすさ 地図帳などで位置の確認をすることが望ましい。
	6	図	修正	帯グラフ「工業種類別の工業生産額のわりあいの変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	7	図 地図	削除 修正	「日本の工業生産の分布」の帯グラフは、工業地帯（工業地域）ごとに総工業生産額と都道府県名をまとめて表にし、地図は削除した。	理解のしやすさ 地図帳や p 9 の地図（点図化）を活用する。

5 下	8	図	修正	円グラフ「機械工業のうちわけ」は、図を削除し、数表化した。	理解のしやすさ
	9	ノート例	修正	言葉を次のように修正した。グラフ「工業生産額のわりあいの変化」→表「工業生産額のわりあいの変化」	グラフが表にしてある
	10	図	修正	棒グラフ「日本の乗用車生産台数の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	11	地図	修正	「豊田市周辺にある自動車会社の工場と主な関連工場」要素を絞って触察しやすいように点図化した。関連工場については、次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「豊田市とその周辺の市には自動車の関連工場がたくさんあります。」</div>	触覚による把握 理解のしやすさ
		図	修正	円グラフ「豊田市の工業生産額にしめる輸送用機械（自動車など）のわりあい」は数表化した。	理解のしやすさ
		図	修正	円グラフ「日本の輸送用機械の生産額のわりあい」は数表化した。	理解のしやすさ
	12	写真	削除 追加	写真「豊田市にある自動車工場」としずかの吹き出しは削除し、次のように補足した。 「工場と思われる大きな建物があります。」	理解のしやすさ
		絵図	修正	「たくさんの部品がある自動車」の絵は削除し、部品を羅列した。	理解のしやすさ
	15	絵	削除	まなび方コーナーの「見学カードの例」は削除した。	指導者による補足
	18	絵図	削除 追加	「つくられたシートが組み立て工場に運ばれるまで」の絵は削除して、次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「シート工場で作られたシートは、トラックに積み込み、組み立て工場に運ばれます。」</div>	理解のしやすさ
	19	絵図	修正	「部品の流れ」の絵を削除し、ことばだけで点図化した。	理解のしやすさ 指導者による補足（工場の数や規模について）
	20	図	修正	「自動車の日本からの主な輸出先」は地図を削除して、輸出台数を数表化した。	理解のしやすさ
		絵図	削除 修正	「はん売される自動車にかかる費用の例」は絵を削除して、次のように文章を修正した。	理解のしやすさ



			「消費者がはらう自動車の値段には、車の生産の費用だけではなく、輸送費、材料費、研究開発費、製造・組み立て費、宣伝費、販売費などがふくまれています。」	
26	絵	削除追加	「身のまわりで鉄が使われている製品」は絵を削除して、次のように描かれている製品を列挙した。  「車 缶詰の缶 やかん せんたく機 テレビ 冷蔵庫 流し台 鉄橋 電車 電車のレール ビル 鉄塔」	理解のしやすさ
27	図写真	削除修正	「鉄ができるまで」は、写真と絵、図を削除して、①～④の文章のみにした。	理解のしやすさ
	図	修正	円グラフ「この工場で使う鉄鉱石の輸入先」は数表化した。	理解のしやすさ
	図	修正	円グラフ「この工場で使う石炭の輸入先」は数表化した。	理解のしやすさ
28	図地図	削除修正	「鉄鉱石の主な輸入先と鉄鋼の主な輸出先」は世界地図を削除し、鉄鉱石の輸入額と、鉄鋼の輸出額に分けて数表化した。	理解のしやすさ
	図	修正	棒グラフ「主な国の鉄鋼の輸出量」は数表化した。	理解のしやすさ
30	絵図	削除修正	円グラフ「日本での石油の使われ方のうちわけと使われる石油製品の種類」は数表化し、絵は削除して描かれているものを項目ごとに列挙した。	理解のしやすさ
31	絵	修正	「石油製品ができるまで」は絵を削除して次のように文章で補足した。  「じょうりゅうとうの中は上に行くほど温度が低くなります。熱した原油は温度によっていくつかの成分に分かれます。」	理解のしやすさ
	図	修正	円グラフ「原油の輸入先のわりあい」は数表化した。	理解のしやすさ
33	図	削除修正	「家庭で使える燃料電池システムの開発」の図は削除して、次のように文章で補足した。	理解のしやすさ

5 下			「燃料電池で発電した電気は、電力会社から供給される電気とともに冷蔵庫、テレビ、エアコン、電灯、などの家電製品に使われます。また、発電時に出る温水は、風呂や床暖房、キッチンなどで使います。」	
34	絵	修正	「水産業で生産されたものを原料とした製品」の絵は削除して、製品名を列挙した。	理解のしやすさ
	図	修正	円グラフ「食料品工業の出荷額の内わけ」は数表化した。	理解のしやすさ
36	写真	削除追加	「2種類の材料を入れたかんづめ」の写真は削除し、「2種類」のあとに（コーンとツナ）を追加した。	理解のしやすさ
37	絵図	修正	「ローリングストック法」は次のように文章化した。 「最初にいつもの倍の食材を買う（常に「備え」の食材を用意する。→古いものから順に料理用として使っていく。→最初に買った量の半分の量になったら買い足す。→また、古いものから順に料理用として使っていく。買った量の半分になったら買い足して、古いものから使っていくことを繰り返す。」	理解のしやすさ
39	図	修正	帯グラフ「貨物輸送の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
40	絵	修正	「めがねわくの部品のよび方」は絵を削除して次のように文章で補足した。 「めがねの部品には次のようなものがあります。パッド ち リム ちょうつがい テンプル モダン ブリッジ」	理解のしやすさ (実物を使って各部品を示すのが望ましい)
41	地図	修正	「北陸工業地域」は、北陸4県の入った地図を点図化し、地図中の工業製品は市ごとに表にした。	理解のしやすさ
42	図	修正	帯グラフ「業種別工場数のわりあい」は数表化した。	理解のしやすさ
	図	修正	帯グラフ「従業員数別工場数のわりあい」は数表化した。	理解のしやすさ
43	絵図	修正	「『仲間まわし』でペンができるまで」は絵を削除し、次のように文章で補足した。	理解のしやすさ

			「ペンができるまでに協力した人たち さわって文字が確かめられるペンの設計（田中さん），下じきになる金属プレートの板金加工が得意な人，板金（ステンレス）の加工が得意な人，ペンじくになるアルミパイプの加工が得意な人，ペン先に使う金属線の入手をする人」	
44	地図	修正	「京浜トラックターミナルのまわり」は要素を抽出して点図化した。	触覚による把握 指導者による補足
	絵図	修正	「共同集配の仕組み」は絵を削除し，次のように文章を補足した。  「京浜トラックターミナルで仕分け，複数のトラックで個別に集配していた荷物を，1台のトラックがまとめて行うことで，有害物の排出量や車両数が3分の1に減りました。」	理解のしやすさ
45	地図	修正	「日本の主な交通網」は「主な鉄道と空港」と「高速自動車道と港」の2枚に分けて点図化した。「主な道路」は削除した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
47	絵	削除	「カルタにこめた思いを書こう」のカルタの絵は削除した。	指導者による補足
48	写真	追加	「海外における工業製品の売れ行きに関する新聞記事」は，写真は削除し，「インドネシア熱い家電市場」の見出しを補足した。	理解のしやすさ
49	図	修正	棒グラフ「製造業で働く人口の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
50	写真	修正	「電気自動車」の写真は削除し，フロント部分の写真について次のように文章で補足した。  「車のフロント部分に充電のための差し込み口があります。」	理解のしやすさ
51	地図	削除 修正	「主な風力発電所などの分布」は地図を削除し，それぞれの発電所がどの都道府県にいくつあるかをまとめて表にした。	理解のしやすさ
52	地図	削除 修正	「主な輸入品の輸入相手国」は地図を削除し，輸入品ごとに輸入相手国と輸入額をまとめて表にした。	理解のしやすさ
	図	修正	円グラフ「輸入量と国内生産量のわりあい」は数表化した。	理解のしやすさ

5 下	53	図	修正	帯グラフ「主な輸入品の取り扱い額のわりあいの変化」は数表化した。	理解のしやすさ
		まなび方 コーナー	追加	「グラフを比べる」を「グラフ（表）を比べる」とし帯グラフの参照ページを記載した。	指導者による補足
	54	地図	削除 修正	「主な輸出品の輸出相手国」は地図を削除し、輸出品ごとに輸出相手国と輸出額をまとめて表にした。	理解のしやすさ
		絵	修正	「輸出される機械類」は絵を削除して、次のように文章で補足した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「…家庭で使われる冷蔵庫, エアコン, 洗濯機などの電気製品などが…」</div>	理解のしやすさ
	55	図	修正	帯グラフ「主な輸出品の取りあつかい額のわりあいの変化」は数表化した。	理解のしやすさ
		地図 絵	削除 修正	「日本の自動車会社の組み立て工場と主な部品工場」は地図と絵を削除して、次のように文章で補足した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「ほとんどの部品を日本から運ばず, タイやインドネシアのエンジン工場, フィリピンやインドの変速機工場などの部品工場から仕入れて, マレーシアやタイの組み立て工場を組み立てる車種もあります。」</div>	理解のしやすさ 指導者による補足 (地図帳で位置の確認をするのが望ましい)
	56	写真	削除 補足	「話し合いをする」は写真を削除し、様子を次のように文章で補足した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「教室で数人の児童が机をあわせて話し合いをしています。」</div>	理解のしやすさ
	60	地図	削除 追加 修正	「宮城県仙台市と気仙沼市の位置」とタイトルを追加した。日本地図は削除し、宮城県とその周辺を点図化した。〇〇ページの気仙沼市の位置も併せてここで記載した。	理解のしやすさ 指導者による補足
		写真	削除 追加	「大津波警報の発表を伝えるテレビ画面」の写真を削除し、次のように説明を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「画面では、女性が情報を伝えています。その画面には、『津波速報 大津波警報が発表されました』という文字がうつっています。また、画面上の日本地図には、大津波警報, 津波警報, 津波注意報が出されている沿岸地域が色分けされています。」</div>	理解のしやすさ
		写真	削除 追加	「地震や津波の情報を伝える特別番組」の写真を削除し、次のように説明を追加した。	理解のしやすさ

5 下			「ヘルメットをかぶった男性と女性が情報を伝えています。画面には、『地震情報 午後2時46分頃震源三陸沖深さ20キロ』などの文字がうつっています。」	
61	図	削除 修正	「地震・津波報道の流れ」の図を削除し次のように文章化した。  「仙台市の放送局は、アからカから情報を集め、テレビやラジオで情報を発信します。 ア. 放送局が設置したカメラ イ. 気象庁 ウ. 県庁 エ. 市役所 オ. 警察 カ. 消防 」	理解のしやすさ
62	地図	削除	宮城県と気仙沼市の地図は〇〇ページの仙台市の地図に併せて点図化した。	理解のしやすさ
63	1	追加	「学習問題について予想しよう」の前に「学習計画を立てよう」のタイトルを追加した。	理解のしやすさ
65	写真	削除 追加	「放送局のスタジオ風景」の写真を削除し、次のように説明を追加した。  「放送中の様子です。男性と女性のアナウンサーが、ニュースの原稿を手元に置き、カメラに向かって立っています。」	理解のしやすさ
66	絵 写真	削除 追加	絵や写真に「番組例」のタイトルを追加した。また、ニュース番組の説明を次のように一部追加した。  「手話によるニュース番組もあります。また、画面の文字でニュースを読むことができます。」	理解のしやすさ
68	絵 写真	削除 追加	「地上デジタル放送になってできること」に次のように一部説明を追加した。  ア. きれいな映像…テレビ画面には、富士山の同じ画像が左右に並んでいます。左に比べて右の画像は鮮明に見えます。 イ. 高齢者にやさしい放送…画面には大きい文字がうつっています ウ. 移動中も見られる エ. 多チャンネル オ. 「番組とデータ放送」のタイトルを追加 カ. 双方向の発信	理解のしやすさ

5 下	71	5	修正追加	「自分の考え」を「たくみさんの自分の考え」と修正した。	理解のしやすさ
		15	修正追加	「自分の考え」を「ゆいさんの自分の考え」と修正した。	理解のしやすさ
		写真	追加	2つの写真にそれぞれ「テレビスタジオの調整室の様子」「新聞の番組欄」のタイトルを追加した。	理解のしやすさ
	74	地図	削除修正追加	日本地図は削除した。 「広島県と広島市の位置」とタイトルを追加し、点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
		写真	削除追加	「8月6日の平和記念式典の様子を伝える記事」の写真を削除し、次のように説明を追加した。  「新聞の見出しには『核と人類 見つめ直す 被爆67年式典 広島市平和宣言』の文字が書かれています。」	理解のしやすさ
	75	写真	削除追加	写真を削除し、 「子ども向けの新聞の紙面」に  「ちゅーピー子ども新聞」のタイトルがつけられています。  「新聞には、『昭和20年 ひいおばあちゃんの8月6日、平成20年 ぼくの8月6日』という見出しがつけられています。 『みんなの新聞コンクール』の入賞作品」に  「新聞の投書らんにとった小学生の投書」に  「投書には、『地いきの人と楽しむ』というタイトルがつけられています。」  の説明を追加した。	理解のしやすさ
	76	地図	削除修正追加	日本地図は削除した。 「石川県と金沢市の位置」とタイトルを追加し点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
		絵	削除追加	「ネットワークを通じて情報を手に入れる」の絵を削除し、文章化した。  1. 学校図書館での図書検索システムの利用 2. 家庭でのコンピューターの利用 3. 医療現場での情報ネットワークの利用	理解のしやすさ
	77	写真	削除修正	写真のタイトルを「診察の順番が待合室の前方の電子掲示板に示されています。」と修正した。	理解のしやすさ

5 下	絵	削除 修正	「世界中につながるインターネット」の図を削除し、次のように文章化した。  「情報ネットワークが発達し、世界中でインターネットにより情報のやりとりができます。」	理解のしやすさ	
	78	絵	削除 修正	「病院内の情報ネットワーク」の絵を削除し、次のように文章化した。  「病院には、受付、待合室、診察室、検査室、会計などいろいろな場所とつながるサーバーがありお互いに送信や受信ができ、情報をやり取りすることができます。」	理解のしやすさ
		写真	削除 修正	「まちがいを防ぐためのリストバンド」の写真を削除し、次のように説明を追加した。  「リストバンドには、バーコードが印刷されています。」	理解のしやすさ
	80	絵	削除 修正 追加	「総合病院を中心とした金沢市の情報ネットワーク」の絵を削除し、次のように文章化した。  総合病院を中心にして様々な機関がつながっています。また、保健所・薬局・訪問看護施設などこれからつながることが期待される情報もあります。 【総合病院とつながっている情報】 ア. A病院 イ. B病院 ウ. C診療所 エ. D病院 オ. E診療所	理解のしやすさ
	82	地図	削除 修正 追加	日本地図は削除した。 「岩手県と遠野市・釜石市の位置」とタイトルを追加し、点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
		絵	削除 追加	「遠隔医療のしくみ」の絵を削除し、次のとおり説明を追加した。  「情報ネットワークにより遠く離れた助産院と病院がつながり、画面を通して情報のやり取りをしている様子」	理解のしやすさ
84	1	修正	タイトル「表にまとめ、関係図をつくる」を次のとおり修正した。 「項目を整理し、関係をまとめる」	理解のしやすさ	
85	図	修正	「しおりさんがつくった関係図」のタイトルを次のとおり修正した。「しおりさんのまとめ」	理解のしやすさ	

5 下			<p>また、囲みごとに必要なタイトルを追加し整理した。</p> <p>項目立ては次のとおりである。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>総合病院を中心に情報ネットワークが活かされています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総合病院</li> <li>2. 保健所と訪問看護施設と薬局</li> <li>3. 救急車にも情報ネットワーク</li> <li>4. 病院と助産施設</li> <li>5. かかりつけの医院や診療所</li> </ol> </div>	
	表	修正	<p>「完成した関係図をみて、考えたことをまとめよう。」を次のように修正した。</p> <p>「完成したまとめをみて、考えたことを書こう。」</p>	理解のしやすさ
	まなび方コーナー	修正	<p>タイトルを「関係をまとめる」に修正した。また、内容も修正を加えた。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>病院の情報ネットワークをまとめる</p> <p>ア. キーワードを書き出す。</p> <p>イ. それぞれのキーワードに印をつける。結びつきの強さがわかるように記号を工夫する。また、シールやテープなどを活用してちがいがわかるようにする。</p> <p>ウ. キーワードごとに、わかりやすい説明を書く。</p> <p>エ. 関係をわかりやすく整理してまとめ、考えたことを書く。</p> <p>オ. 絵や写真をそばにはる方法もあります。</p> <p>カ. 関係図にまとめて、キーワードを線で結んだり、結びつきの強い線は太くするなど工夫する方法もあります。</p> </div>	理解のしやすさ
86	図	削除修正追加	<p>「『ぐるぐる便』のしくみ」の図を削除し、文章化した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ア. 毎週1回木曜日</p> <p>イ. 午後と午前の2周</p> <p>ウ. すべての小中学校（11校）を車で回る</p> <p>エ. 学校間の本の貸し借りも行う…</p> <p>1 回目は、午前8時10分に市立図書館を出発し、小学校7校、中学校4校をまわりもどってきます。2 回目は、午後1時10分に出発し、午前と同じ順番で小学校や中学校をまわります。</p> </div>	理解のしやすさ
87	地図	削除修正追加	<p>「長野県と諏訪地域の位置」とタイトルを追加し点図化した。また、編集上、地図を挿入した。</p>	触覚による把握理解のしやすさ



5 下		図	削除 修正	「すわズラー」のしくみの図を削除し、文章化した。  「図書館ネットワークで、原村、富士見町、下諏訪町、茅野市、諏訪市、岡谷市が結ばれています。」	理解のしやすさ
	88	地図	削除 修正 追加	日本地図は削除した。 「岩手県と滝沢市の位置」とタイトルを追加し点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
		グラフ	削除 修正	「増加する日本のお年寄り」のグラフを削除し、数値化した。	理解のしやすさ
	89	図	削除 修正	「いわて“おげんき”みまもりシステム」の図を削除し、文章化した。  一人暮らしのお年寄りが自宅にある電話を使い、“おげんき発信”をすると“おげんきみまもり”システムのサーバーにつながります。この情報はインターネットで社会福祉協議会にある“おげんき”みまもりセンターで確かめることができます。また、地域には、「みまもりさん」として、見守り協力者、民生委員、近所の人、宅配便の人などが協力して、一人暮らしのお年寄りの様子を確認しサーバーに“みまもり”発信をします。また、「みまもりさん」は、社会福祉協議会と情報交換もしています。お年寄りの遠くに住む家族には、お年寄りの発信を電子メールで転送することもできます。	理解のしやすさ
		90	地図	削除 修正 追加	日本地図は削除した。 「和歌山と和歌山市の位置」とタイトルを追加し、点図化した。
	グラフ		削除 修正	「市が行ったアンケート結果」の棒グラフを削除し、数値化した。	理解のしやすさ
91	図	削除 修正	「県の総合防災情報システム」の図を削除し、文章化した。	理解のしやすさ	

			<p>県庁の情報伝達のシステムでは、移動けいネットワークと衛星けいネットワークを活用して情報を伝達しています。</p> <p>移動けいネットワークでは、中けい局があり、そこから、①防災ヘリ（ヘリテレ映像）、②車、③船舶、④無線器などを通して情報を伝えています。衛星ネットワークでは、①消防庁、都道府県庁など、②市町村、消防本部及び③防災関係機関などの「たんまつ局」や④しんこう局である「支部局」などに情報を伝えています。そして、県庁は、有線ネットワークや情報系システムも活用し、情報を収集しています。得た情報をメールやインターネットや防災無線で県民に情報を伝達します。</p>	
96	グラフ	削除 修正	「インターネットが原因の犯罪の件数の変化」の棒グラフを削除し、数値化した。	理解のしやすさ
	写真	削除 追加	<p>「インターネットが関連した犯罪を伝える新聞記事」の写真を削除し、次のように説明を追加した。</p> <p>「新聞の見出しには、『ネットバンク 偽画面ウイルス』『法改正でメール規制へ』という文字が書かれています。」</p>	理解のしやすさ
100	地図	修正	<p>「小笠原諸島の位置」の地図は、地図上の矢印と距離を地図上には入れず、枠外に次のように文章化した。</p> <p>「東京と父島の間の距離は約1000km」</p>	理解のしやすさ
102	図	修正	帯グラフ「世界各国の国土にしめる森林のわりあい」は数表化した。	理解のしやすさ
103	地図 図	削除 修正	「日本の土地利用のわりあい」の日本地図は2章の「土地利用の地図」を参照することにして削除した。円グラフは数表化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
104	図	修正	棒グラフ「天然林と人工林の面積の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
106	地図	修正	鱒ヶ沢町の地図は、要素を抽出して読み取りやすい形で点図化した。標高別の塗り分けは削除した。	触覚による把握 理解のしやすさ
108	写真	削除 修正	<p>「北山杉の林」写真は削除して、次のように文章を修正した。</p> <p>「鱒ヶ沢町の森林との違いは何でしょう。」</p>	理解のしやすさ 指導者による補足

5 下	109	図	修正	棒グラフ「林業で働く人の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
		図	修正	棒グラフ「木材輸入量の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	110	絵	削除 修正	「森林の働き」の絵は削除して、絵の中の文章部分を箇条書きとした。	理解のしやすさ
		図	修正	棒グラフ「日本の森林資源の量の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	111	絵	削除 修正	「木を使った製品」は絵を削除して、描かれているものを列挙した。	理解のしやすさ
		絵	削除 修正	「紙を使った製品」は絵を削除して、描かれているものを列挙した。	理解のしやすさ
	112	写真	削除 補足	「話し合いをする」は写真を削除して、様子を次のように文章で補足した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「図書室で児童6人が資料や地図を見ながら話し合いをしています。」</div>	理解のしやすさ
		まなび方 コーナー	削除	「・地図や絵などを使って、わかりやすく説明する。」の項目を削除した。	指導者による補足
	113	新聞	修正	「森林新聞」の中の絵は削除した。記事の中の「防風林を見ることができます」は「防風林があります」と表記を変更した。	指導者による補足 (社説の欄について)
	114	地図	修正	京都市の地図は、要素を抽出して読み取りやすい形で点図化した。標高別の塗り分けは削除した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	116	写真	削除 補足	「昔のよごれた鴨川」の2枚の写真は削除し、次のように文章で補足した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「1969年と1980年の鴨川は、どちらも川原にゴミのようなものが見られます。」</div>	理解のしやすさ 指導者による補足
		写真	削除 補足	「鴨川が汚れていたことを示す新聞記事」は写真を削除して、紙面の見出しを次のように補足した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「『汚すのはだれだ』『工場排水で濁る』『家庭のゴミ捨て場』などの見出しがあります。」</div>	理解のしやすさ
	118	写真	削除 補足	「夏の鴨川納涼」は写真を削除し、次の文章を補足した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「『子どもたちに美しい川をのこそう』という横断幕が掲げられています。」</div>	理解のしやすさ 指導者による補足

120	写真	削除 補足	「天ぷら油のリサイクルのキャラクター」は写真を削除し、キャラクターの下に書かれている文字を次のように補足した。  「みやこ・めぐるオイル」	指導者による補足
	図	修正	棒グラフ「京都市で回収した、使い終わった天ぷら油の量の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
	図	修正	棒グラフ「使い終わった油を回収する場所の数の変化」は数表化した。	理解のしやすさ
121	図	修正	棒グラフ「国別の二酸化炭素排出量」は数表化した。	理解のしやすさ
	図	修正	棒グラフ「国別の一人あたりの二酸化炭素排出量」は数表化した。	理解のしやすさ
	図	修正	円グラフ「国内の二酸化炭素の排出される主な場所」は数表化した。	理解のしやすさ
125	地図	削除	「四大公害病」は、日本地図を削除し、文章と表のみとした。	指導者による補足 地図帳を使って位置の確認をすることが望ましい
128	地図	修正	「東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）の震源と、津波による被害が大きかった地域」は、要素を抽出して読み取りやすい形で点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
129, 130	地図	削除	「さまざまな自然災害」の日本地図は削除した。	指導者による補足 地図帳を使って位置の確認をすることが望ましい
131	写真	削除 補足	「校庭にえがかれた助けを求める文字」は写真を削除して、次の文章を補足した。  「S O S の文字が大きく描かれています。」	理解のしやすさ
135	絵	削除 修正	「土砂災害が起きる前ぶれ」の絵は削除し、文章部分を簡条書きとした。	理解のしやすさ
137	吹き出し	修正	しずかの吹き出しを、次のような文章に変更した。  「つくった提案は確認しやすいところに置いておくといいね。」	理解のしやすさ
138, 139	本文	修正	冒頭の「地図と写真を見て、…」の部分を「地図などを使って、…」に変更した。	理解のしやすさ

5 下	地図	削除	日本地図は削除した。	指導者による補足
	写真	修正 削除	写真は削除し、タイトルのあとのページは章と小単元の番号に変更して、おおよその場所がわかるようにした。	指導者による補足

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
6上	見開き	写真 図	削除 修正	写真は削除し、図と絵は目次を補足する内容を文章化した。	指導者による補足
	2, 3	写真 絵	削除	写真は削除し、年表を点図化した。	理解のしやすさ 指導者による補足 (絵や写真の様子)
	4, 5	図	削除 修正	地図を削除し、博多～大宰府にかけての歴史に関する施設等を並べた。 「板付遺跡」「鴻臚館跡」の指示語を修正した。 「ここでは」→この遺跡では 「ここで」→鴻臚館では	理解のしやすさ
	6, 7	写真	追加	「博物館観察のポイント4 体験する」に「体験の例」の文を追加した。	理解のしやすさ 指導者による補足 触察による把握
			削除 修正	写真、絵を削除し、文章の一部を以下のように修正した。 みさき「阿修羅像には、どうして手が6本、顔が三つもあるのかな。」 たくみ「400年ほど前に伝わったカードをもとにしたカルタもあったよ。どんな風に遊ぶのかな。」 ゆい「この絵は宇宙人？と思ったら、昔の人が想像したおなかの中の虫なんだって。」 おなかの虫の絵を点図にした。	
	8, 9	図	修正	「三内丸山遺跡の人々の1年の生活」を表化した。 「さまざまな道具」の説明を次のように修正した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「石や木や動物の骨・角などをけずるなどして、つりばりやはり、土を掘るための棒などのさまざまな道具として使用しました。」</div>	理解のしやすさ
10, 11	図 絵 写真	修正	「空から見た板付遺跡」の写真を次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「楕円形の集落の周囲に堀があり、外とは3本の道でつながっています。中には、いくつかの大きさの違う堅穴住居があります。」</div>	理解のしやすさ 指導者による補足	
		削除 追加	本文「右上の写真は」を削除した。 「米づくりに使ったと考えられるさまざまな道具」に次の文を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「資料館には、木製のくわやすきがありました。」</div>		

6 上	12, 13	削除 修正	<p>「青森県山内丸山遺跡の発掘状況をもとに描いた絵」を次のように文章化して追加した。</p> <div data-bbox="577 203 1177 792" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>想像図では、村の建物は様々な大きさの竪穴住居が集落の中心あたりに円を描くように集まっています。その周辺に倉庫のような建物が並んでいます。海には、船が出ていて漁をしています。狩りからもどり、家族に獲物を見せている人がいます。捕えた獣や魚を保存するために加工している人がいます。骨や皮なども道具にするために干しているものがあります。</p> <p>土器を作ったり、焼いたりしている人たちがいます。</p> <p>村はずれに、貝殻などのごみをすてる場所もあり、ここが貝塚になったと考えられます。</p> <p>家づくりは、皆で協力して行っていて、力を合わせて生活していた様子がわかります。</p> </div>	理解のしやすさ 指導者による補足 (くらしの様子をより詳細に伝える)
	14, 15	削除 修正	<p>「佐賀県吉野ヶ里遺跡の発掘状況をもとに描いた絵」を以下のように文章化して追加した。</p> <div data-bbox="577 943 1177 1464" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>想像図では、二つの集落が描かれています。それぞれの集落のまわりには、堀があります。二重の柵が作られていて、内側には竪穴住居があり、人々が住んでいます。むらの中心には、大きな竪穴住居があります。物見やぐらのような高い建物もあります。</p> <p>柵の外側には、米作りをしている田があり、高床倉庫に米を保存しています。</p> <p>織物をしている女性の姿や武器などを作っている男性の姿があります。集落の入り口には、槍を持った人が立っています。</p> <p>となりの集落では、火を前に祈りをささげている人もいます。その人の屋敷へ、米のようなものを運んでいる人が何人かいます。</p> </div>	理解のしやすさ 指導者による補足 (くらしの様子をより詳細に伝える)
16, 17	つかむ	修正	<p>つかむの言葉を次のように修正した。</p> <div data-bbox="577 1570 1177 1704" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「板付遺跡の想像図の説明を読んで、気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、学習問題をつくろう。」</p> </div> <p>たくみの言葉を次のように修正した。</p> <div data-bbox="577 1771 1177 1868" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「板付遺跡には、集落の周りに堀があったね。」</p> </div>	理解のしやすさ
18, 19	写真	削除 追加	<p>「矢じりがささったままの人骨」、 「吉野ヶ里遺跡で発掘されたかめ棺」の写真に次の説明を追加した。</p>	理解のしやすさ 指導者による補足 (出土品の形や大きさ、

6 上			<p>「発掘されたかめ棺の中には、やじりがささったままの人骨もありました。」</p> <p>「吉野ヶ里遺跡から出土したもの」の写真を削除し、次の説明を追加した。</p> <p>「吉野ヶ里遺跡からは、巴型の銅器や鉄製の小刀、銅剣、奄美大島から南の浅い海などに生息している貝で作った腕輪などが出土しています。</p> <p>また、飾りの管玉や祭りの銅鐸なども出土し、銅鐸は、島根県で出土したものと同一鑄型でつくられたことが判明しました。」</p>	色合い)	
	20, 21	図	修正	「大仙（仁徳陵）古墳」の写真は削除し、図を点図化した。	触察による把握
		絵	修正追加	<p>「古墳を築いている様子」の絵を削除し、次の文を追加した。</p> <p>「数百人の人がふもとから石やはにわを運び上げ、丘の上に大きな古墳を築き上げています。すべて人々の手によって行われています。古墳の中腹には、身分の高い豪族がいて、工事の状況を確認しています。たくさんのはにわが並べられています。」</p>	理解のしやすさ 指導者による補足
		絵	修正追加	<p>「前方後円墳の断面図」の絵を削除し、次の文を追加した。</p> <p>「古墳の周りには堀が掘られています。古墳には外側にふき石が敷かれています。」</p>	指導者による補足 (内部の構造について)
		写真	修正追加	<p>「石室の様子と出土品」の写真は削除し、次の文章を追加した。</p> <p>「古墳からは、ひすい製の勾玉、管玉、鎌、土器、朝顔型のはにわ、つぼ型のはにわなどが出土しています。」</p>	理解のしやすさ 指導者による補足 (出土品の形や大きさ、色合い)
	22, 23	地図	修正	「ワカタケル大王と二つのはなれた地域の古墳」の地図を点図化した。	理解のしやすさ
	24	本文	修正	ノートの記述を修正した。	理解のしやすさ
	25	写真 図	削除 修正	「古墳のあれこれ」の写真を削除し、点図化した。「四すみがつき出た古墳の分布」の地図を削除し、表化した。	指導者による補足 (模型などで形の把握をする)
28	地図	削除	「遣隋使がたどった道筋」の地図を削除した。	指導者による補足 (日本と中国、朝鮮の	



6 上				位置関係)	
	31	図	削除 修正 追加	「都へ運ばれてきた各地の主な産物」の地図を削除し、産物は別表にした。	理解のしやすさ
		写真	削除	「木の荷札」の写真は削除した。	理解のしやすさ
	33	写真	追加 修正	「陸奥の国分寺」の後に「岩手県にあります」を追加した。	理解のしやすさ
		地図	修正	「国分寺の分布」の地図は点図化した。	理解のしやすさ
		地図	修正	「たびたび移された都」は簡略化し点図化した。	理解のしやすさ
	34, 35	絵	追加	「大仏づくりの様子」に次の文を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「なん十人もの人が、働いています。大仏の前に指導者がおり、指示をだしています。大量の金属を溶かしながら、大仏像を固めています。中にはけがをして運ばれている人もいます。」</div>	理解のしやすさ
		図	修正	「行基が都の周辺で進めた土木工事」の図を削除し、数表化した。	理解のしやすさ
		地図	修正	「全国から集められた人や物資」の地図を削除し、数表化した。	理解のしやすさ
	35	絵	修正 追加	「開眼式（完成式典）の様子」の絵を削除し、次の文を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「多くの僧が並んで、大仏の完成を祝っています。」</div>	理解のしやすさ
36	写真	削除 修正	「正倉院の宝物」の写真は削除し、次のように文を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「正倉院には、ガラスのコップ（高さ11cm）、びわ（長さ1m、ラクダに乗った人の模様がはいつている）、鏡（直径約27cm）、水差し（高さ約41cm）、碁盤などたくさんの宝物が納められています。」</div>	指導者による補足 （宝物の特徴など）	
38	まなび方	削除	「学習したことを整理する」の項目を削除した。	理解のしやすさ	
40	絵	削除 修正	「都の貴族のやしきの様子」を次のように文章化し、追加した。	指導者による補足 （屋敷の大きさや住ん	

			<p>「貴族の屋敷の中央には、神殿があり、その屋敷の主人が生活していました。また、客をもてなす場でもありました。神殿の前の庭では貴族たちがけまりをして楽しんでいます。敷地内には、池や小さな川が流れ、歌を詠んでいる人もいます。屋敷の外では、牛車が走り、人々を乗せて運んでいます。」</p>	でいる人数など)
41	写真	削除 修正	<p>「貴族の食事を再現したもの」、「庶民の食事を再現したもの」を次のように文章化した。</p> <p style="text-align: center;">貴族</p> <p>白米、アワビのうに和え、里芋の煮物、心太（寒天）、鴨のなます、焼き代、スープ、塩、味噌、麦縄（冷麦）、蘇（チーズ）、清酒、唐菓子、果物</p> <p style="text-align: center;">庶民</p> <p>玄米、青菜のしる、塩、漬物</p>	理解のしやすさ 指導者による補足 (料理の並べ方や色合い)
43	絵・図	修正	「かな文字」を点図化し、「な」「も」「こ」のでき方を別に配置し、でき方を詳しく説明した。	触察による把握
45	学習問題	修正	<p>学習問題を次のように変更した。</p> <p>「学習問題について調べてきたことを整理しよう。」</p>	
47	図	修正	平安時代の年中行事を表化した。	理解のしやすさ
48	絵	修正	<p>「武士のやかたの様子」の絵を削除し、次の文章を追加した。</p> <p>「まわりは、深い堀と垣根で囲まれています。門の上には物見やぐらがあります。やかたの中央には、主人が住む母屋があります。堀の外側では、武士たちが馬や弓矢のけいこをしています。武士の日常生活では、武具の手入れも大事な仕事の一つでした。」</p>	指導者による補足 (屋敷の大きさや首位の様子など)
51	地図	修正	「源氏の軍の進路」の地図を簡略化し、点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
52	図	修正	「鎌倉と幕府の位置」の図を点図化した。	触覚による把握
	地図	修正	「鎌倉への道」の地図を簡略化し点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
53	図	修正	「鎌倉幕府のしくみ」の図を点図化した。	理解のしやすさ
54	資料	追加	「元との戦い」の写真を削除し、次の文を追加した。	指導者による補足

			「上陸した元の兵士に対し、鎧を身に付け、馬に乗った日本の武士は、弓などで戦っています。元の兵士は、弓の他に見慣れない兵器を使っています。」	
	地図	修正	「モンゴルの広がり」の地図を点図化した。	触察による把握
55	地図	修正	「元軍の進路」の地図を点図化した。	触察による把握
	絵	削除 修正	「守りに向かう武士たち」の絵を削除し、説明文を次のように修正した。 「竹崎季長が馬に乗っていて、防塁には武士が多く見られます。」	理解のしやすさ
56	資料	修正	②「せりふを考えて4コマまんがを完成させよう」を次のように修正した。 「次の文を読んで、お話を作ってみよう。」	理解のしやすさ
57	資料	修正 追加	みさきの文を次のように修正した。 「関東地方の各地（埼玉県北本市や東京都町田市など）には、～」	理解のしやすさ
59	写真	修正 追加	「書院造りの部屋（東求堂）」の写真を次の文章に修正した。 「畳敷きの部屋は、部屋同士はふすまで仕切られています。床の間には違い棚が備え付けられています。明り取り用の障子の前にはつけ書院がつけられ、文房具などを飾りつけられるようになっています。」	指導者による補足 (部屋全体の様子や造り)
63	写真	修正	「御伽草子」の写真を削除し、次のように説明を修正した。 「現在でも知られている話も多くあります。写真は『ものぐさ太郎』の絵本です。」	理解のしやすさ
64	ひろげる	追加	体験の文章の前に「茶の湯を体験しよう」を追加した。	理解のしやすさ
65	絵	追加 修正	「じっくり見よう」の文末に追加 「いろいろな人が見物に来ている様子や山車の飾りには、海を越えて伝わったアジアのじゅうたんも見られます。」	理解のしやすさ
	写真	修正 追加	「現在の長刀鉾」の写真を削除し、以下の文章を文頭に追加した。	理解のしやすさ

6 上				「高さは25mほどあり,重さは約11トンもあります。」	
	66, 67	絵	修正追加	「長篠の戦い」の絵を削除し,以下の文を追加した。  「長篠合戦図の左側には,織田信長と徳川家康の連合軍が描かれています。豊臣秀吉もいます。中央には,馬防ぎのさくがあり,織田軍の鉄砲隊が待ち構えています。右側には,武田軍の騎馬隊が描かれています。長篠城を守っている様子もあります。 織田軍の鉄砲隊の発砲によって,黒煙が上がり,武田軍の騎馬隊が倒れている様子が描かれています。信長は,それまでの弓矢や刀を主とした戦い方から,鉄砲を大量に使う戦い方に変えました。」	指導者による補足 (屏風に描かれている地形や両軍の戦い方の違いなどについて)
		まなび方コーナー	修正	まなび方コーナーを以下のように修正した。  屏風絵からわかること 長篠合戦屏風 1 長篠の戦いについて次のようなことを読み取ることができます。 ア. 織田・徳川の連合軍と武田軍の戦いです。 イ. 川を挟んで,両軍が向かい合って戦っています。起伏に富んだ地形を利用しています。 ウ. 右端には,長篠城が描かれています。 2 わかったことから考えてみよう。 ア. 両軍の戦い方にはどのような違いが何だろう。 イ. 戦いは,どちらが優勢なのだろう。	理解のしやすさ
	69	地図	修正	「信長の勢力拡大の様子」の地図を1560年頃,1582年までの二つに簡略化し,点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	73	写真	修正	「石州銀」の写真を削除し,文章を次のように修正した。  「石見銀山で産出された銀で銀貨も作られていました。」	理解のしやすさ
	74	図	修正	「江戸幕府のしくみ」を簡略化し,点図化した。	理解のしやすさ
	76	まとめる	修正	①の課題を次のように修正した。  「天下統一について,整理しよう。」	理解のしやすさ
	78	グラフ	修正	「取りつぶされた大名」は数表化した。	理解のしやすさ
	79	地図	修正	「主な大名の配置」は簡略化し,外様大名領のみ塗りつぶして点図で表し,地図上の主な大名は別表にまとめた。	理解のしやすさ

80	地図	修正	「参勤交代にかかる日数」は表化した。	理解のしやすさ
82	絵	修正 追加	「さまざまな身分」の絵を説明する文章を以下のように付け加えた。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>武士：座敷の上で、甲冑を身につけている男性と、講釈を聞いている男性が描かれています。</p> <p>農民：田んぼで、田植えをしている男女と、牛を使って田をすいている男性が描かれています。</p> <p>町人（職人）：材木を切ったり、畳を張り替えたり、屋根を葺いたりして家を建てている男性が描かれています。</p> <p>町人（商人）：店頭で客と話している男性や、奥でそろばんを使って記録をつけている男女、荷物を運搬している男性などが描かれています。</p> </div>	理解のしやすさ
82	地図	修正	「城下町のなごり」の地図上に見られる町名を列挙した。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>弘前城の周辺の町名 若党町，紺屋町，亀甲町，禰宜町，蔵主町～</p> </div>	理解のしやすさ 指導者による補足（地図の特徴や町名の由来など）
83	グラフ	修正	「江戸時代の身分ごとの人口割合」は数表化した。	理解のしやすさ
84	地図	修正	「日本人町のあったところ」は簡略化し，点図化した。	理解のしやすさ
86	吹き出し	修正	活動内容に合わせるため，ことばを次のように修正した。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「家光が行ったことについて，他の立場の人の意見を考えて，書いてみよう。」</p> </div>	理解のしやすさ
87	地図	修正	沖縄県の位置が分かるよう，実際の位置を簡略化し，点図で表し，巻頭の地図にまとめた。	理解のしやすさ
88	絵	修正	活動の内容に合わせるため，ことばを一部修正し，絵を説明する文章を付け加えた。	理解のしやすさ

6 上		追加	<p>今の職業のようすと比べてみよう。</p> <p>1. 運送業：トラックで荷物を運んでいます。</p> <p>2. すし店：ガラスケースに入ったねたですしをにぎっています。</p> <p>3. 八百屋：店先に並んだ野菜を販売しています。</p> <p>4. 雑貨店：店先に目につきやすいよう工夫して整理された雑誌や菓子や日用品を販売しています。</p>	
88	絵		<p>活動の内容に合わせるため、ことばを一部修正した。</p> <p>「まちにいるのはこんな人の説明を読んで、せりふを考えよう。」</p>	理解のしやすさ
94	絵	削除 修正	<p>「二つの解剖図」の絵は削除し、説明の一部を次のように修正した。</p> <p>「当時使われていた中国から伝わった医学書と、「解体新書」の解剖図です。」</p>	理解のしやすさ
97	グラフ	修正	「増える百姓一揆と打ちこわし」の棒グラフは折線グラフで点図化した。	理解のしやすさ
99	地図	削除	「各地の主な藩校」の地図は削除したが、地名と藩校名を表化した。	理解のしやすさ
105	絵	削除 修正	<p>「五箇条のご誓文の内容とその発表の様子」の絵は削除したが、7の資料名を以下のように修正した。</p> <p>「五箇条の御誓文の発表のようす」</p>	理解のしやすさ
	資料	修正	「五箇条の御誓文の内容」は資料の前に移動した。	理解のしやすさ
106	地図	削除	「廃藩置県後の日本」の地図は削除し、表化した。	理解のしやすさ
109	地図	削除	「国会開設を望む都道府県別の声」の地図は削除し、表化した。	理解のしやすさ
111	絵	修正	「大日本帝国憲法にもとづく国のしくみ」は、国民を一番下にして、点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ 理解のしやすさ
112	関係図	修正	「関係図」は削除し、活動内容にあわせて以下のように修正した。	理解のしやすさ

			<p>明治新政府をつくる 西郷隆盛（薩摩藩）…薩摩藩の武士の子として生まれる。薩摩藩の指導者的立場となり、倒幕に力をつくす。明治政府では参議となるが、 やがて政府を去り、後に西南戦争の中心人物となって死去。 大久保利通…西郷隆盛の幼なじみ。倒幕運動で協力。明治政府では外交をめぐって対立。 木戸孝允…西郷と薩長同盟を結ぶ。 伊藤博文…遣欧使節で大久保や木戸と一緒に欧米の進んだ文化を見てくる。 板垣退助・大隈重信…伊藤博文に国会開設を要求する。</p> <p>関係がある人物 坂本龍馬…西郷と大久保、木戸に薩長同盟を働きかける。 勝海舟…坂本龍馬とは、海軍操練所での師弟関係。咸臨丸でアメリカへ。</p>	
	まなび方	修正	<p>「図にまとめる」のあとに、次のような文章を追加した。</p> <p>「次のように人物関係図をつくることもできます。」</p>	理解のしやすさ
115	グラフ	修正	「工業の発展」は点図化した。	理解のしやすさ
	グラフ	修正	「主要な貿易品目の推移」は数表化した。	理解のしやすさ
117	絵	修正	<p>「領事裁判権を認めていることの不利」の絵を削除し、次ように文章を修正した。</p> <p>「領事裁判権を認めていることで、日本での、外国人の勝手な行動が許されてしまいます。」</p>	理解のしやすさ
118	絵	修正	<p>「朝鮮をめぐる、日本、ロシア、中国」の絵は削除し、次のような説明を追加した。</p> <p>「左岸にちょんまげに着物姿の日本人、右岸にチャイナ帽をかぶった中国人がいます。日本人と中国人は釣り糸をたらし、朝鮮という魚を釣ろうとしています。その様子を橋の上からロシア人がうかがっています。」</p>	理解のしやすさ 指導者による補足
	地図	修正	「日清戦争の戦場」は点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握

	グラフ	修正	「清から得た賠償金と戦費」は数表化した	理解のしやすさ
119	地図	修正	「日露戦争の戦場」点図化した。	理解のしやすさ
	グラフ	修正	「二つの戦争での日本の戦死者」を数表化した。	理解のしやすさ
120	地図	修正	「領土の広がり」は点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	グラフ	修正	「なくなる朝鮮語の授業時間」は数表化した。	理解のしやすさ
126	絵	削除	「東京停車場之図」の絵は削除し、次のような説明を追加した。 <div data-bbox="576 600 1177 1032" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「レンガでつくられた東京駅を、たくさんの人が利用しています。洋服に帽子をかぶり杖をもっている男の人や、長いスカートをはいている女の人があります。着物姿の男の人と女の人もあります。洋服の人也有着物の人もよそ行きの姿をしています。駅周辺には、自動車や人力車があります。空には飛行機や飛行船が飛んでいます。制服を着た警察官や、はっぴを着ている火消しの人、郵便屋さんもいます。看板の文字は、右から書かれています。」</p> </div>	理解のしやすさ 指導者による補足 (乗り物や人、文字について)
	本文	修正	活動の内容に合わせるため、次ように文章を一部修正した。 <div data-bbox="576 1160 1177 1294" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>20世紀に入ると、さらに新しい乗り物がふきゅうし始めます。どんな乗り物がふきゅうしたのでしょうか。</p> </div>	理解のしやすさ
130	写真	修正	「満州移住をよびかけるポスター」の説明文に、次のように修正をした。 <div data-bbox="576 1422 1177 1518" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>満州移住のよびかけは、全国各地で行われました。</p> </div>	理解のしやすさ
131	地図	修正	「中国との戦争の広がり」は簡略化し、点図化した。	触覚による把握
132	地図	修正	「戦場となったアジア、太平洋の地域」は簡略化し、点図化した。	触覚による把握
133	グラフ	修正	「日本とアメリカの生産力の差」は数表化した。	理解のしやすさ
134	資料	削除 修正	「戦争中の生活」の見出しは削除した。それぞれ写真の説明を加えた。	理解のしやすさ
135	資料	修正	「疎開先での食事の例」は表化した。	理解のしやすさ



6 上	136	地図	修正	「空襲の被害を受けた都市」は点図化した。	触覚による把握
	138	資料	修正	「第二次世界大戦でなくなったアジアの人々」は表化した。	理解のしやすさ
	141	地図	削除	「対馬丸がしずんだ場所」の地図は削除した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	143	まなび方	修正	「複数の写真から読み取る」の後に、次の文章を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">複数の写真から次のようなことを読み取ることができます。</div>	理解のしやすさ
	145	資料	修正	「戦後改革とそのえいきょう」の一言コメントは、年表中に（ ）をつけて加える。	理解のしやすさ
	147	グラフ	修正	「電化製品のふきゅうの様子」は①電気洗濯機、乗用車、ルームエアコン②白黒テレビ、カラーテレビ、電気冷蔵庫の二つに分けて点図化した。それぞれ図中では、「せんたくき」「エアコン」「しろくろ」「からー」「れいぞーこ」と表記した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	151	地図	修正	「北方領土，四つの島」は点図化した。	触覚による把握
	152	資料	修正	「戦後の復興から平成の時代へ」の一言コメントは、（ ）をつけて年表中に加えた。	理解のしやすさ
	巻末	年表	削除 修正	時代名上の「日本の国の成り立ち」「貴族の世の中」「武士の世の中」「明治からの世の中」「戦後の新しい日本」は削除した。 「主な人物」は「日本の主なできごと」に挿入した。	理解のしやすさ
6 下	見開き	地図	修正 追加	分冊巻頭目次のあとに、この教科書に出てくる府県と市の位置（埼玉県川口市、宮城県気仙沼市、富山県富山市、大阪府堺市）をまとめて表示した。	理解のしやすさ 触察による把握
	6，7	絵	削除	「あすばるの見取り図」の絵を削除した。	指導者による補足
	9	絵	削除	「あすばる通信」は説明文のみとし、通信の記事については削除した。	指導者による補足
	11	図	修正	「あすばる建設までの流れ」の図を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	13	絵	削除	「市議会議員選挙に立候補する」「市議会での話し合い」「国会や中央省庁に意見書を出す」	指導者による補足

6 下			の絵を削除した。	
13	図	修正	「市の政治のしくみ」の図を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
14	図	修正	「あすばるに必要なお金」の図を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
15	図	削除 修正	「税金の集められ方と使われ方」の図の絵を削除し、点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
16	図	修正	フローチャートの図を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
21	図	修正	「災害から人々を助ける政治の働き」の図を簡略にし、点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
23	図	修正	「復旧に向けた政治の働き」の図を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
30	絵	削除	「地域の公園づくり」の絵を削除した。	指導者による補足
32	グラフ	修正	「富山市の65才以上の人口の割合」のグラフを点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
32	グラフ	修正	「JR富山港線の利用者と沿線人口の変化」のグラフを点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
33	図	修正	「ライトレール整備事業のしくみ」の図を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握 指導者による補足
34	図	修正	「国民と国会と内閣の関係」の図を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
35	グラフ	修正	「選挙の投票率（衆議院議員選挙）」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ 触察による把握
36	グラフ	削除 修正	「日本の収入と支出」の円グラフを削除し、数表化した。	理解のしやすさ 触察による把握
36	図	修正	「内閣のしくみ」の図を点図化し、横書きとした。	理解のしやすさ 触察による把握
38	図	修正	「裁判のしくみ」の図を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
39	図	修正	「こうきさんたちのまとめ」の図を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
43	図	修正	「日本国憲法の三つの原則」の図を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握

6 下	44	絵	削除	「識字学級に通う人の思いをえがいた絵本」の絵を削除した。	指導者による補足
	45	絵	削除 修正	「国民の権利」と「国民の義務」の絵を削除し、文章のみとした。	理解のしやすさ
	46	図	修正	「豊かなくらしを実現する方法」の図を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	47	図	修正	「政治に参加する権利」の図を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	50	絵	削除	「平和と人権資料館にあるパネル」の絵を削除した。	指導者の補足
	54	写真	削除 修正	「選挙の投票率に関する新聞記事」「内閣発足に関する新聞記事」「3年が過ぎた裁判員制度に関する新聞記事」「消費税の増税に関する新聞記事」の表題を生かし、他は削除した。	指導者の補足
	見開き 58～59	地図	修正 追加	分冊巻頭目次のあとに、この教科書に出てくる国の位置（アメリカ、中国、韓国、サウジアラビア、ツバル）をまとめて表示した。	理解のしやすさ 触察による把握
		絵	修正 追加	「この教科書に出てくる国の位置」のあとに、この教科書に出てくる国旗（アメリカ、中国、韓国、サウジアラビア、日本）をまとめて表示した。	理解のしやすさ 触察による把握
	64, 65	絵	削除 修正	本文中、時計の絵を削除し、文字表記にした。	理解のしやすさ
	68	地図	修正	「アメリカの広い国土」の地図を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	70	地図	修正	「中国の広い国土」の地図を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	72	地図	修正	「中国の民族」の地図を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	75	グラフ	修正	「日本に来る中国からの留学生」のグラフを点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	76	地図	修正	「韓国の国土」の地図を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
79	グラフ	修正	「日本に来る韓国からの観光客」のグラフを点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握	
82	地図	修正	「サウジアラビアの国土」の地図を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握	

6 下	83	グラフ	修正	「サウジアラビアの気温と降水量」のグラフを「サウジアラビア」と「日本」の二つに分けて点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	87	グラフ	削除 修正	「日本が石油を輸入している国」の円グラフを削除し、数表化した。	理解のしやすさ
	91	絵	修正	「EUの旗」の絵を点図化した。	触察による把握
	91	地図	削除 修正	「EUの加盟国」の地図を削除し、国名のみ表記にした。	理解のしやすさ
	96	地図	修正	「第二次世界大戦後の主な国際紛争」の地図を点図化した。	理解のしやすさ 触察による把握
	96	グラフ	削除 修正	「各国の国連分担金の割合」の円グラフを削除し、数表化した。	理解のしやすさ
	97	グラフ	削除 修正	「日本の資金援助の国別の内訳」の円グラフを削除し、数表化した。	理解のしやすさ
	101	地図	修正 追加	「青年海外協力隊の派遣国」の地図を点図化し、各地域の国名を文字表記にして追加した。	理解のしやすさ
	101	グラフ	削除 修正	「派遣された人たちの人数」の棒グラフを削除し、数表化した。	理解のしやすさ
	101	グラフ	削除 修正	「派遣された人たちの職種」の円グラフを削除し、数表化した。	理解のしやすさ
	102	グラフ	削除 修正	「在日外国人の人数」の棒グラフを削除し、数表化した。	理解のしやすさ
	103	絵	削除	「君が代の楽譜」の絵を削除した。	指導者による補足
	104	地図	削除	「世界地図」を削除し、本文を巻頭の「世界地図で確かめよう。」とした。	理解のしやすさ。
	110, 111	本文	修正	本文の表記順を「地理」「歴史」「公民」の順にした。	理解のしやすさ